Pioneer

DVDプレーヤー

DV-AX10

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に、最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目　次

お使いになる前に

こんなことができます

❖ DVDオーディオデコーダー内蔵、ドルビーデジタル*／DTS**デコーダー内蔵の高音質オーディオシステム

本機はＤＶＤオーディオの高音質を再生可能にする１９２kHzサンプリング/２４bit対応のDAC（デジタル/アナログコンバーター）を搭載しています（４５ページ）。また、5.1チャンネルアナログ音声出力端子を装備し、DVDオーディオマルチチャンネル時に各チャンネル最大９６kHzサンプリング/２４bitに対応しています。さらにドルビーデジタルデコーダーとDTSデコーダーを内蔵し、5.1チャンネルアナログ音声入力端子を持ったAVアンプなどと接続して映画館のような臨場感あふれる音声をお楽しみいただけます（１７ページ）。

❖ プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム

本機は５２５pの周波数の映像信号を出力するプログレッシブスキャン（順次走査）出力端子を装備しています。コンポーネント映像入力を持ったプログレッシブ（５２５p）対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン（飛び越し走査）よりも２倍の情報量の、きめ細かな映像を再生します（１５ページ）。

また、このプログレッシブ方式を利用して、DVDビデオ映画の再生に、オリジナルソースに忠実な画質を再現する「ピュアシネマ」モードを採用しています（２８ページ）。

❖ 新開発ＤＮＲ内蔵ビデオエンコーダーを採用

本機は高画質DNR（デジタル・ビデオ・ノイズリダクション）内蔵のビデオエンコーダー（ＶＱＥ：Video Quality Enhancer）を採用し、きめ細かな画質調整を行います。3種類の画質設定（テレビ(CRT)、プロジェクター、プロフェッショナル）を選択することができ、さらにお好みに調整した画質を記憶することができます（２７ページ）。

❖ 別売デジタルコントロールアンプC-AX１０とのPDIF接続

サンプリング周波数最大１９２kHzや、マルチチャンネルの音声信号をデジタルのまま直接C-AX１０に伝送します。D/A-A/Dコンバーターを経由しないため、さらなる高音質再生が可能です（１６ページ）。

❖ 新開発セットアップナビゲーション付きＧＵＩ

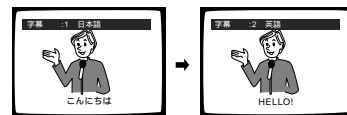
複雑な設定を、画面に表示される質問に答えていくだけで簡単に設定できるセットアップナビゲーター機能を搭載しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどに最適な設定を簡単に行うことができます（１８ページ）。

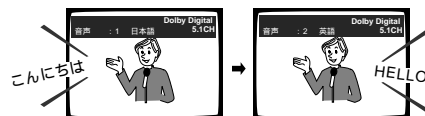
❖ 充実した特殊再生

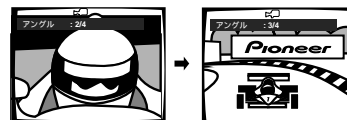
本機ではDVDビデオやビデオCDの再生速度を様々に変えることができます。前方向、逆方向のスロー再生、高速再生（スキャン）、コマ送り再生をスムーズな映像でお楽しみいただけます。

マルチダイヤルを使うと1/１６倍速のスロー再生から高速再生（スキャン）まですばやく変えることができます（３０ページ）。

❖ お好みの字幕言語が選択できます

ＤＶＤビデオに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます（４４ページ）。

❖ お好みの音声言語が選択できます

ＤＶＤビデオに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます（４４ページ）。

❖ お好みのアングルが選択できます

ＤＶＤビデオに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます（４１ページ）。

本機の取り扱いのご注意

再生中は本機を絶対に動かさない
再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。表示窓に「0:00」と表示されるのを確認してから、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

■ 設置する場所

- 組み合せて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。またカセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない
本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように
本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意
ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン／クローズ（▲）ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

■ 製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機で再生できるディスクについて

■ 本機で再生できるディスクの種類

- 本機は下表のディスクをアダプターなしで、再生することができます。
- 下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

*1 マルチチャンネル記録されたSACDは再生できません。
*2 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R（音楽専用）ディスクが再生できます。
- レコーダーの記録特性やディスクの特性・傷・汚れ、またはプレーヤーのピックアップのレンズ汚れ・結露等により再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないソフトは、通常再生のみ使用することができます（早送り、早戻し、トラックサーチなど通常再生以外の動作はできません。）
- CD-Rディスクのお取り扱いはディスクの使用上の注意をよくお読みください。

*3 （株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです（39、69ページ）。

ご注意：
- DVD-ROMは再生できません。
- リージョンNo.（69ページ）が本機と異なるDVDビデオは再生できません。
- 8cmアダプター（CD用）は使わないでください。

■ DVDビデオに表示されているマークについて

DVDビデオのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
②))	音声の数を表わします。
2	字幕言語の数を表わします。
3	アングル数を表わします。
16 : 9 LB	選択可能な画像アスペクト比を表わします。
2 ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。

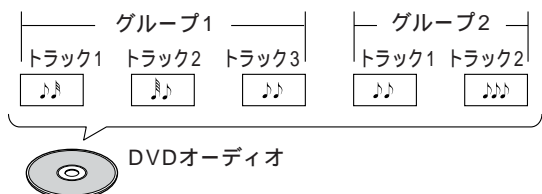
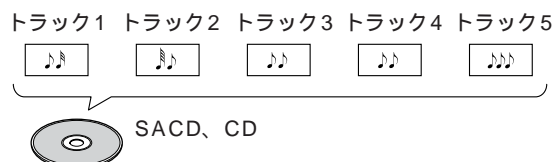
■ ディスクの操作について

DVDビデオでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止マーク」を表示します。
また、メニュー操作中や再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止マーク」を表示します。

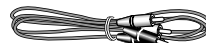
ディスクによる禁止マーク
プレーヤーによる禁止マーク

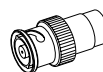
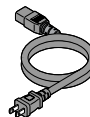
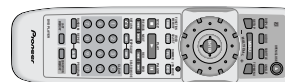
■ ディスクの構成について

DVDビデオではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

DVDオーディオではディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。（一般的には1曲が1つのトラックに対応。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。また、ディスクによってはDVDビデオのようなメニュー画面や映像が記録されているものもあります。

SACD、CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には1曲が1つのトラックに対応。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっているかを確認してください。

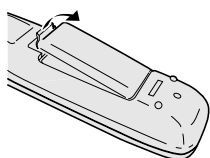
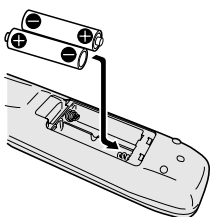
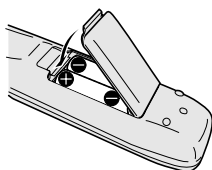
- 音声ケーブル

- 映像ケーブル

- BNC-ピン変換プラグ（3個）

- 電源コード

- リモートコントロールユニット

- 単3形乾電池（R6P・2本）

- 保証書
- 安全上のご注意
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）

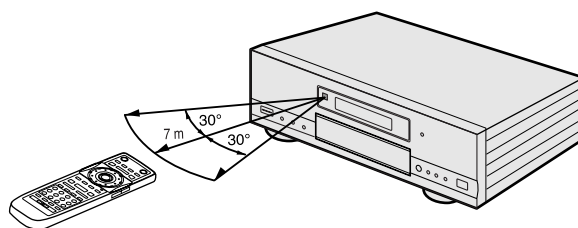
リモコンの準備

■ リモコンに乾電池を入れる

1. **裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く**

2. **ケース内に表記されている極性 ⊕（プラス）／⊖（マイナス）を合わせて、乾電池を正しく入れる**

3. **フタを矢印の方向に閉める**

ご注意：

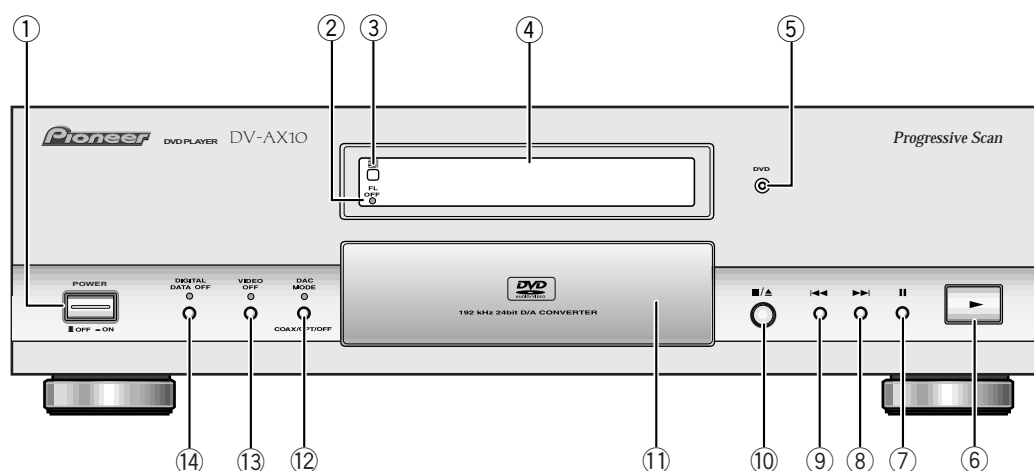
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体正面のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約7m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。
- 本体後面のコントロール入力端子（11ページ）が他の機器に接続されているときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

ご注意：

リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

各部の名称とはたらき

本体正面

① **電源ボタン（POWER ■OFF/▬ON）**
電源をオン/オフします（22、25ページ）。

② **FL OFFインジケーター**
表示窓を消灯すると点灯します。リモコンのディマーボタン（DIMMER）で表示窓の明るさを調整できます（13ページ)。

③ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受けます（8ページ)。

④ **表示窓**
本機の動作状況を表示します（10ページ）。

⑤ **DVDイルミネーション**
DVDビデオ、DVDオーディオを再生したとき点灯します。DVD以外のディスクを再生したときは点灯しません。

⑥ **再生(►）ボタン**
ディスクを再生します（22ページ)。

⑦ **一時停止(II）ボタン**
再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します（32ページ)。もう一度押すと再生を再開します。

⑧ **次（►►I）ボタン**
映像や音声の頭出しをします（24ページ）。

⑨ **前（I◄◄）ボタン**
映像や音声の頭出しをします（24ページ）。

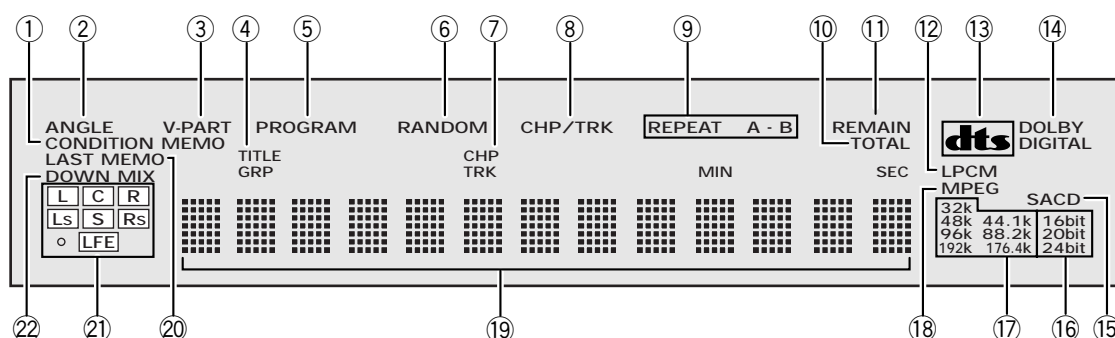
⑩ **停止／オープン・クローズ（■／▲）ボタン**
ディスクの再生を止めます。停止中に押すとディスクテーブルを開閉します（22、25ページ）。

⑪ **ディスクドア／ディスクテーブル**
ディスクを出し入れするときに、停止／オープン・クローズ（■／▲）ボタンを押すと、ディスクドアとディスクテーブルが開閉します（22、25ページ)。

⑫ **DAC MODEボタン／インジケーター**
本機をDACとして使用するときに押します（45ページ）。DACモード中はインジケーターが点灯します。

⑬ **VIDEO OFFボタン／インジケーター**
映像信号の出力をオン／オフします。
AUTO：ディスクに映像信号が入っている場合は映像信号を出力し、映像信号が入っていないディスクまたは場面では出力しません。
OFF　：映像信号を出力しません。
ON　 ：映像信号を出力します。
[VIDEO OFF] のときインジケーターが点灯します。

⑭ **DIGITAL DATA OFFボタン／インジケーター**
デジタル出力するかしないかを切り換えます。デジタル出力オフのときインジケーターが点灯します（50ページ）。

本体表示窓

① **CONDITION MEMO**
コンディションメモリー機能が働いているとき点灯します（41 ページ）。

② **ANGLE**
DVDを再生しているとき、アングル変更が可能な場面で点灯します（41 ページ）。

③ **V-PART**
DVDビデオまたはDVDオーディオの再生中、映像信号のある場面で点灯します。

④ **TITLE/GRP**
タイトル/グループ番号を表示しているときに点灯します（DVDのみ）。

⑤ **PROGRAM**
プログラム再生中に点灯します（35 ページ）。

⑥ **RANDOM**
ランダム再生中に点灯します（34ページ）。

⑦ **CHP/TRK**
チャプター／トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑧ **CHP/TRK**
チャプター／トラックをプログラム再生、リピート再生、ランダム再生しているときに点灯します。

⑨ **REPEAT（A-B)**
リピート再生中に点灯します(33ページ）。

⑩ **TOTAL**
タイトル、チャプターまたはトラックの総再生時間が表示されているときに点灯します（46、47 ページ）。

⑪ **REMAIN**
タイトル、チャプターまたはトラックの残り再生時間が表示されているとき点灯します（46、47 ページ）。

⑫ **LPCM**
リニアPCM音声を再生しているときに点灯します。

⑬ **dts**
DTS音声で収録されているディスクを再生しているとき点灯します。

⑭ **DOLBY DIGITAL**
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

⑮ **SACD**
SACDを再生しているときに点灯します。

⑯ **量子化ビット数表示**
リニアPCM音声で収録されているディスクを再生しているときに、その量子化ビット数を表示します。

⑰ **サンプリング周波数表示**
リニアPCM音声で収録されているディスクを再生しているときに、そのサンプリング周波数を表示します。

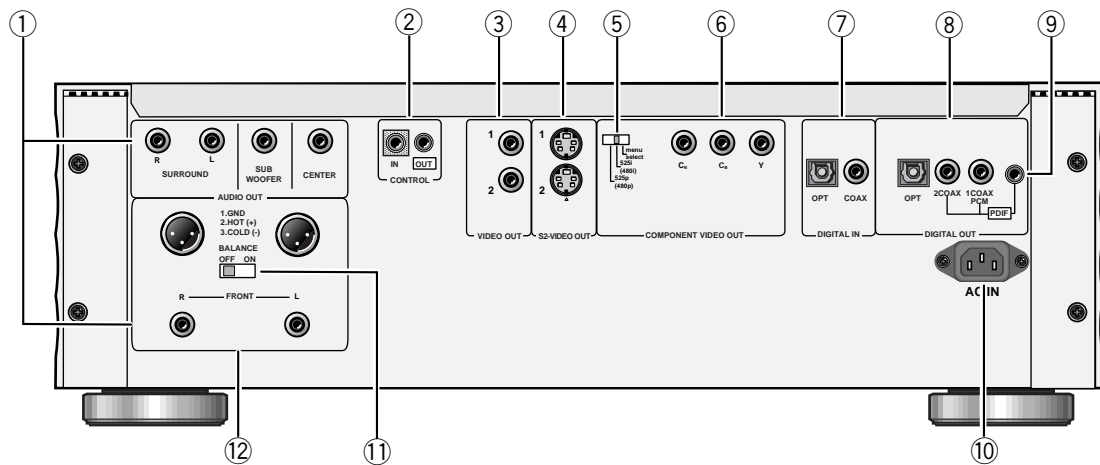
⑱ **MPEG**
MPEG音声を再生しているときに点灯します。

⑲ **カウンター表示**
再生モード、ディスクの種類、タイトル／グループ番号、チャプター／トラック番号、経過時間などを表示します。

⑳ **LAST MEMO**
ラストメモリー機能が働いているとき点灯します（40ページ）。

㉑ **プログラムフォーマットインジケーター**
再生しているDVDに収録されている音声チャンネルに対応するインジケーターが点灯します。
L ：左フロントチャンネル
C ：センターチャンネル
R ：右フロントチャンネル
LS ：左サラウンドチャンネル
S ：サラウンドチャンネル（モノラル）
RS ：右サラウンドチャンネル
LFE：LFEチャンネル

㉒ **DOWN MIX**
DVDオーディオやドルビーデジタル、DTSなどのマルチチャンネル音声をダウンミックス（チャンネル変換）しているとき点灯します。 例えば、5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換しているとき点灯します。

本体後面

① **マルチチャンネル音声出力（5.1CH)端子**
5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプと接続するときに、市販の音声ケーブルを使って接続します（17ページ）。

② **コントロール入力／出力端子**
SRマークの付いたAVアンプなどのパイオニア製品につなぐと、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし、3.5∅）を使って、本機のコントロール入力端子とAVアンプなどのコントロール出力端子を接続します。

memo

- システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずアナログ音声ケーブル、映像ケーブルのいずれかを使って接続してください。
- SRマーク付きのAVアンプなどとつないだときは、つないだ機器（AVアンプなど）にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SRマークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

③ **映像出力端子**
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します（15ページ）。

④ **S2映像出力端子**
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します。本機のS映像出力端子はS２対応です（15、69ページ）。

⑤ **コンポーネント映像出力切換スイッチ**
コンポーネント映像出力端子をつないだときにテレビの走査方式に合わせて切り換えます（15ページ）。

⑥ **コンポーネント映像出力（Y/CB/CR）端子**
コンポーネント（Y/CB/CR）映像入力端子のあるテレビまたはプロジェクターなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します（15ページ）。

⑦ **デジタル入力（同軸／光）端子**
本機をDACとして使用するとき、デジタル出力端子のあるCDプレーヤーやMDプレーヤーなどの機器と、市販の同軸または光デジタルケーブルを使って接続します（45ページ）。

⑧ **デジタル出力（同軸（2系統）／光）端子**
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、市販の同軸または光デジタルケーブルを使って接続します（16ページ）。
また、同軸端子の**1COAX**はPCM信号専用で、MDレコーダーやCDレコーダーに接続します。AVアンプにつなぐときは**2COAX**を使用します。

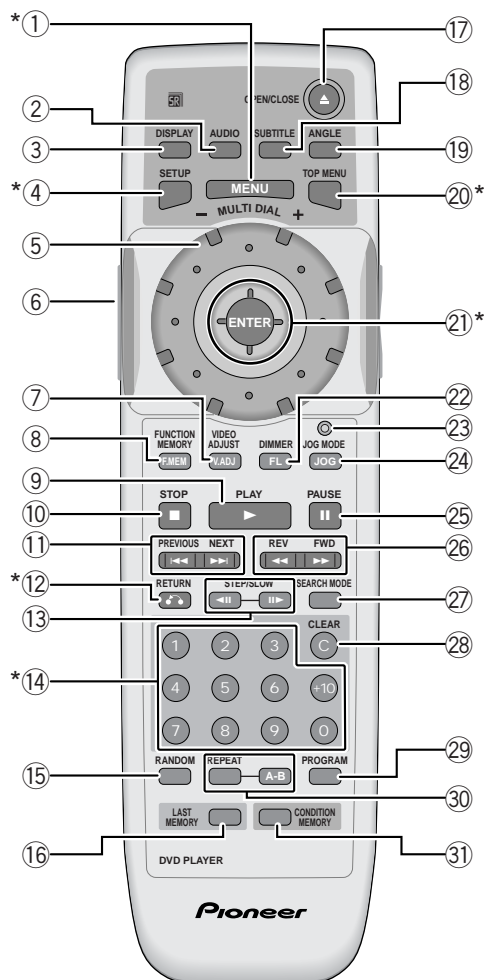
⑨ **PDIF端子**
別売デジタルコントロールアンプC-AX10とPDIF接続するときに、C-AX10に付属のPDIF接続ケーブルを使って接続します（16ページ）。

⑩ **電源コード接続端子**
付属の電源コードを接続します（14ページ）。

⑪ **平衡出力ON/OFF切換スイッチ**
平衡出力の接続をしたときにONに切り換えます（17ページ）。

⑫ **音声出力(2CH)端子／平衡出力(2CH)端子**
2チャンネルのステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します。
また、平衡出力をつなぐときは市販のキャノンプラグ付き接続ケーブルを使って接続します（17ページ）。

リモコン

*マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

*① **メニューボタン（MENU）**
DVDソフトのメニュー画面を表示します（23ページ）。

② **音声ボタン（AUDIO）**
音声を切り換えます（44、45ページ）。

③ **画面表示ボタン（DISPLAY）**
ディスクの情報を表示します（46ページ）。

*④ **初期設定ボタン（SETUP）**
初期設定画面を表示します（48ページ）。

⑤ **マルチダイヤル（MULTI DIAL）**
スロー再生、スキャン、コマ送り再生などの特殊再生に使用します（30、31ページ）。

⑥ **ライティングボタン（LIGHTING）**
7つのボタン(⑦、⑧、⑨、⑩、㉒、㉔、㉕）を約6秒間点灯させます。暗い部屋などでお使いのとき便利です。

⑦ **画質調整ボタン（VIDEO ADJUST）**
ご使用になるモニターの種類に合わせて、画質の設定を「テレビ(CRT)」、「プロジェクター」、「プロフェッショナル」の3種類から選ぶことができます。また、お好みの画質に調整して、その設定を記憶することもできます（27ページ）。

⑧ **ファンクションメモリーボタン（FUNCTION MEMORY）**
初期設定画面の設定項目の中で、よく変更する項目を記憶することができます（63ページ）。

⑨ **再生（►）ボタン（PLAY）**
ディスクの再生を開始します（22ページ）。

⑩ **停止（■）ボタン（STOP）**
ディスクの再生を止めます（25ページ）。

⑪ **前（|◄◄）／次（►►|）ボタン（PREVIOUS/NEXT）**
場面や曲の頭出しをします（24ページ）。

*⑫ **リターン（↶）ボタン（RETURN）**
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻ります（48ページ）。

⑬ **ステップ／スロー（◀II／II▶）ボタン（STEP/SLOW）**
◀II：一度押すとコマ戻し再生します。
押し続けると逆方向にスロー再生します（32ページ）。
II▶：一度押すとコマ送り再生します。
押し続けると前方向にスロー再生します（32ページ）。

* ⑭ **数字ボタン**
見たい／聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

⑮ **ランダムボタン（RANDOM）**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラックを順不同に再生します（34ページ）。

⑯ **ラストメモリーボタン（LAST MEMORY）**
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします（40ページ）。

⑰ **オープン／クローズ（⏏）ボタン（OPEN/CLOSE）**
ディスクテーブルを開閉するときに押します（22、25ページ）。

⑱ **字幕ボタン（SUBTITLE）**
DVDの字幕言語を切り換えます（44ページ）。

⑲ **アングルボタン（ANGLE）**
DVDのアングルを切り換えます（41ページ）。

* ⑳ **トップメニューボタン（TOP MENU）**
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します（23ページ）。

* ㉑ **ジョイスティック／ENTERボタン**
設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。押すと、選択した項目を決定します。

㉒ **ディマーボタン（DIMMER）**
本体表示窓の明るさを調整します。消灯から通常の点灯まで明るさを4段階に切り換えられます。表示窓を消灯すると、FL OFFインジケーターが点灯します。

㉓ **ジョグモードインジケーター（JOG MODE）**
マルチダイヤルの機能がコマ送りになっているとき点灯します（31ページ）。

㉔ **ジョグモードボタン（JOG MODE）**
マルチダイヤルの機能をスロー/スキャンからコマ送りに切り換えます。マルチダイヤルを使ってコマ送り再生ができます（31ページ）。

㉕ **一時停止（II）ボタン（PAUSE）**
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します（32ページ）。

㉖ **スキャン（◀◀/▶▶）ボタン（REV/FWD）**
映像や音声の早送り／早戻しをします（24ページ）。
◀◀：早戻し方向
▶▶：早送り方向

㉗ **サーチモードボタン（SEARCH MODE）**
サーチの種類を選ぶときに押します（26ページ）。

㉘ **クリアボタン（CLEAR）**
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します（33〜38ページ）。

㉙ **プログラムボタン（PROGRAM）**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(35ページ）。

㉚ **リピートボタン（REPEAT）**
DVDビデオではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。DVDオーディオではグループやトラック、SACD、CDまたはビデオCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します（33ページ）。

㉛ **コンディションメモリーボタン（CONDITION MEMORY）**
DVDビデオの設定を記憶します（41ページ）。

接続と準備

> **⚠ 注 意**
> **接続をするときには、本機の電源スイッチをオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください**

接続の手順（接続例）

本機の性能を十分に楽しむための接続例です。15～17ページをご覧のうえ、お持ちのAV機器やケーブルに合わせて接続してください。

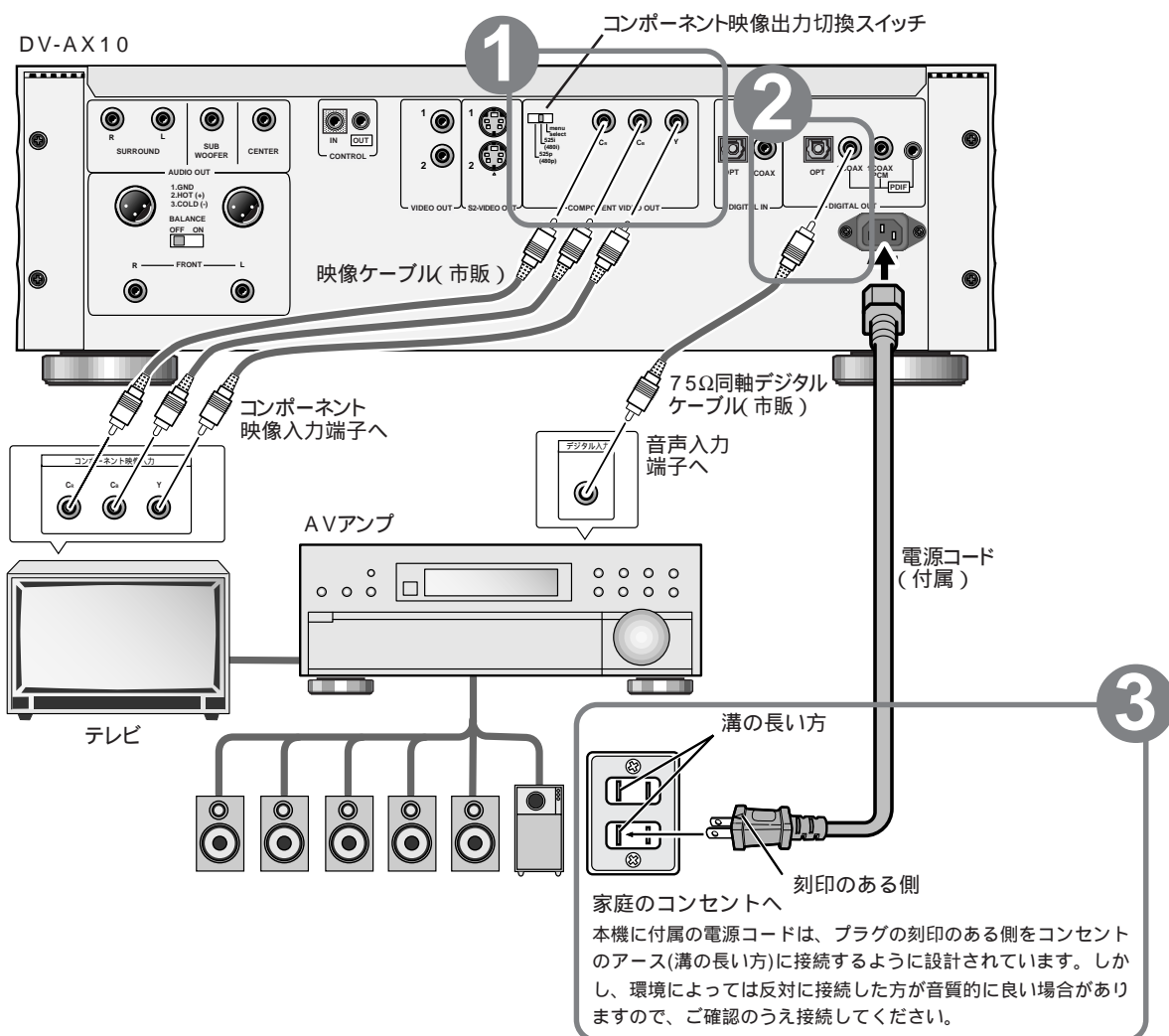
1 映像ケーブルをつなぐ

下の例のようにコンポーネント接続したときは、コンポーネント映像出力切換スイッチを切り換えます（右ページ）。

2 音声ケーブルをつなぐ

16～17ページをご覧ください。

3 付属の電源コードをコンセントへつなぐ

テレビやAVアンプの電源コードをコンセントにつなぎます。
つなぎ終わったら、「セットアップナビゲーター」を使って本機の設定を行ってください（18ページ）。

映像ケーブルのつなぎかたを選ぶ

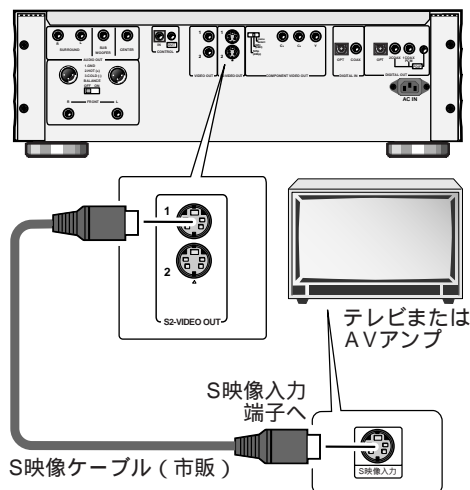
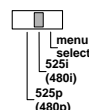
以下の3つのつなぎかたのうち、どれか1つ接続すれば映像が出力されます。

■ 付属の映像ケーブルでつなぐとき

■ 市販のS映像ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビやAVアンプなどにS（またはS2)映像入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめいたします。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。

■ 市販のコンポーネント映像ケーブルでつなぐとき（プログレッシブスキャン対応のテレビにつなぐとき）

お使いのテレビなどにコンポーネント（Y/CB/CR)映像入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむには、もっとも適したつなぎかたです。また、お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、このつなぎかたをしてください。

コンポーネント映像出力切換スイッチ

上記のコンポーネント接続をしたときに切り換えます。プログレッシブ対応テレビにつないだときは[525p(480p)]を選びます。つないだテレビがプログレッシブ対応でないときは[525i(480i)]を選びます。[menu select]を選ぶと、初期設定画面でどちらかを選択することができます（55ページ）。

- ハイビジョン対応のコンポーネント（Y/PB/PR）映像入力端子につなぐことはできません。

本機の映像出力は、ビデオデッキにはつながないでください。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができない場合があります。

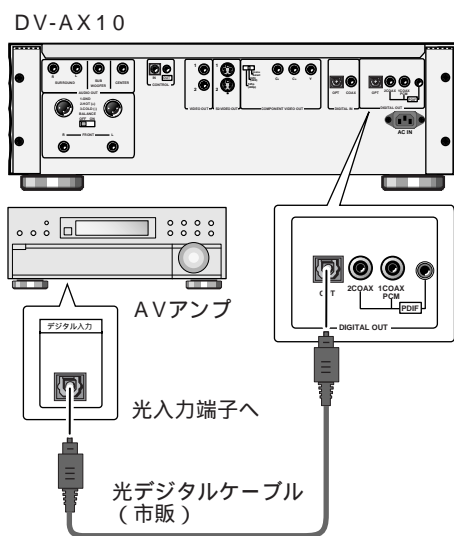
音声ケーブルのつなぎかたを選ぶ

16、17ページのつなぎかたのうち、どれか1つ接続すれば音声が出力されます。音声ケーブルをつなぐときは、必要に合わせてデジタル接続とアナログ接続を組み合わせてください。

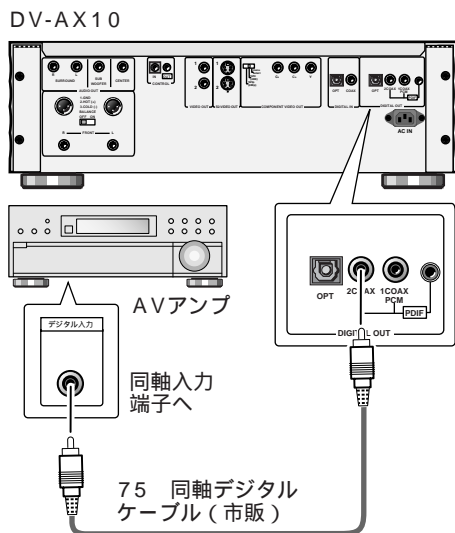
■ デジタル音声ケーブルでつなぐとき

本機はドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのデジタル入力に対応したAVアンプ（各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー）とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。また、パイオニア製デジタルコントロールアンプC-AX10とつなぐと、さらに本機の高性能を引き出し、高音質をお楽しみいただけます。

市販の光デジタルケーブルでつなぐ

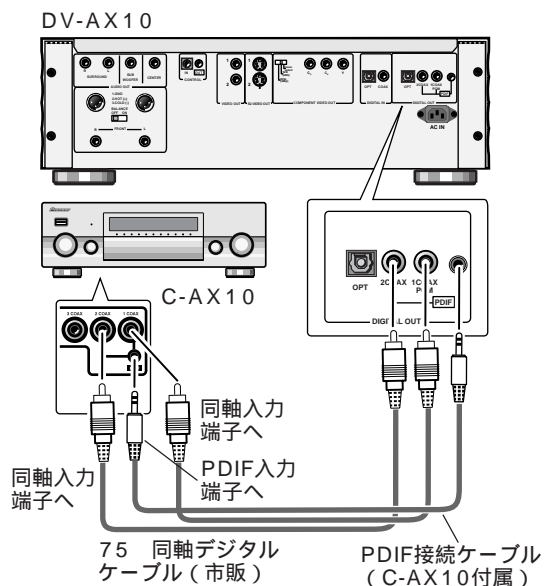
DV-AX10

市販の同軸デジタルケーブルでつなぐ

DV-AX10

memo

- MD、CDレコーダー、DATなどの機器をつないでデジタル録音をするときは、PCM出力専用の1COAX出力端子への接続をおすすめします。
- ドルビーデジタル／DTSの5.1チャンネル音声をお楽しみいただくためには、光（OPT）端子または同軸（2COAX）端子に接続します。さらにドルビーデジタル／DTSデコーダー内蔵AVアンプなどのほか、5チャンネルスピーカー（フロント左右／センター／サラウンド左右）＋サブウーファーが別途必要になります。

C-AX10 と PDIF 接続する

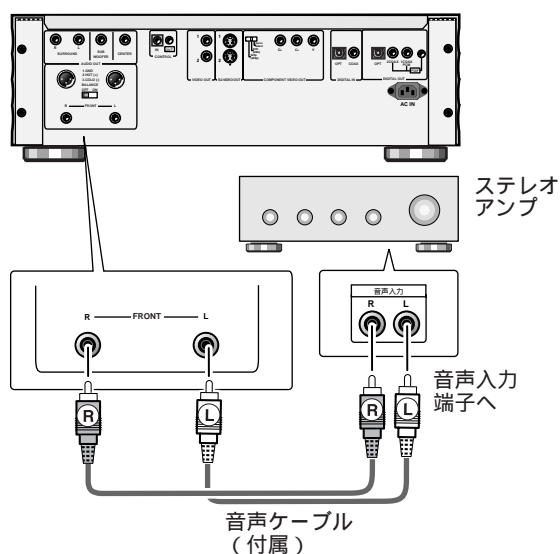
別売のコントロールアンプC-AX10につなぐときは、同機に付属のPDIF接続ケーブル、市販の75Ω同軸デジタルケーブル2本の計3本でつなぎます。

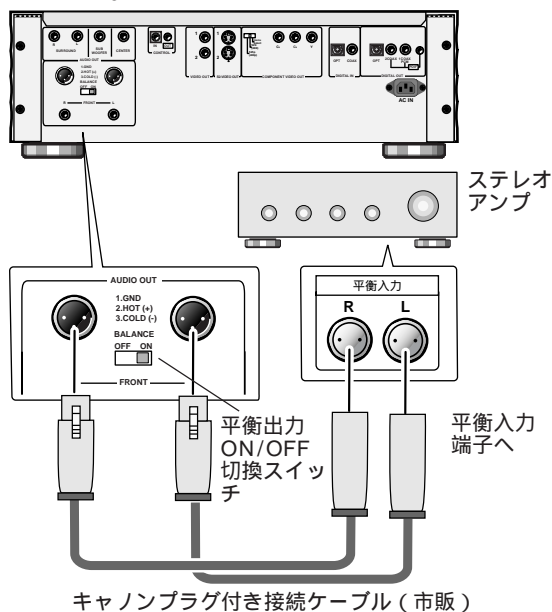
memo

- PDIF接続することによって192kHzは24bit/2chまで、96kHzでは24bit/4ch、16bit/6chまで、48kHzでは24bit/6chまでデジタル伝送することができます。
- PDIF接続したとき、ディスクによってはコピープロテクションにより音声信号が48kHz（44.1kHz）/16bitの2chで出力されることがあります。96kHz、192kHz/24bitを出力するには、PDIF接続とともにアナログ接続をしてください（右ページ）。
- PDIF接続したとき、DVDオーディオの中にはコピープロテクションによりデジタル音声が出力されないことがあります。そのとき本体表示部に「PDIF PROHIBIT」と表示されます。そのような場合はアナログ接続し、それに合わせて本機の[音声出力]の設定を切り換えてください（51ページ）。
- PDIF接続した場合、本機のスピーカー設定は無効になります（52ページ）。

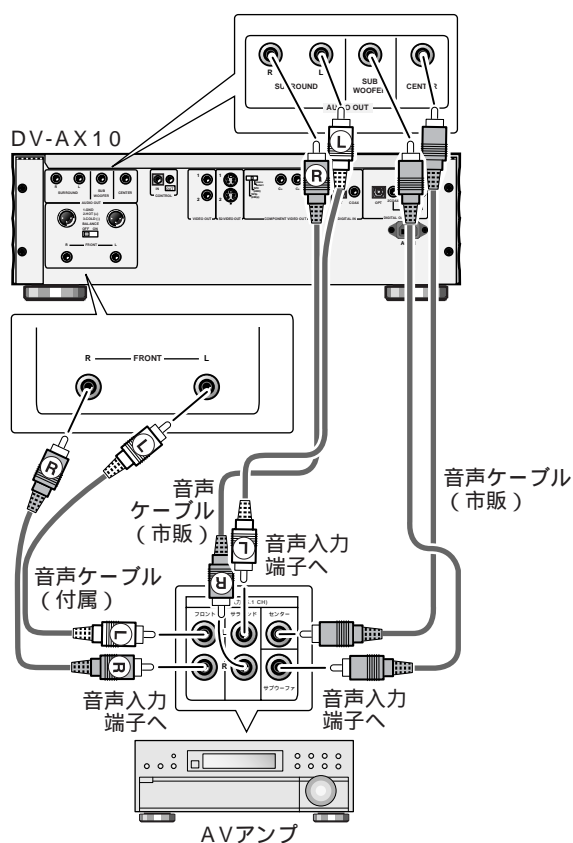
■ アナログ音声ケーブルでつなぐとき

2 チャンネル接続

この接続をしたときは、19ページの ［アナログ端子］の設定を［2チャンネル］にしてください。

①付属の音声ケーブルでつなぐ

②市販のキャノンプラグ付き接続ケーブルでつなぐ

この接続をしたときは、本体後面の平衡出力ON/OFF切換スイッチを「ON]にしてください。

5.1 チャンネル接続

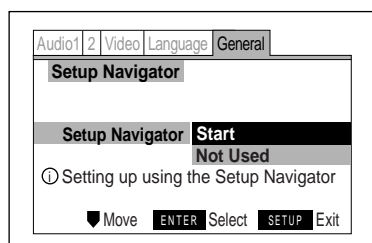
この接続をしたときは、19ページの［アナログ端子］の設定を［5.1チャンネル］にしてください。

「セットアップナビゲーター」を使って設定する

「セットアップナビゲーター」により対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。この機能は再生中には使えません。
セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。
言語（画面表示言語）➡　テレビとの接続（テレビの種類）➡　アンプとの接続

■「セットアップナビゲーター」を開始する

1. 本体の電源ボタンを押す

2. 停止中に初期設定ボタンを押す

セットアップナビゲーター画面が自動的に表示されます。

Start　　：セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。
Not Used：セットアップナビゲーターを使わないとき選択します。個別に設定するには「いろいろな設定」（48～64ページ）をご覧ください。

3. ENTER ボタンを押す

セットアップナビゲーターが開始します。
以下１８～２１ページの各項目を順番に設定します。

- 「Not Used」を選ぶと、次回からは初期設定ボタンを押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなります。その場合は、初期設定画面の[一般]の設定で、[セットアップナビゲーター]を選ぶことができます。
- 「Not Used」を選んだ場合、画面表示の言語は英語になります。画面表示を日本語にするには、58ページの［画面表示言語］の設定で[日本語]を選んでください。

■画面に表示する言語を選ぶ

日本語または英語から選べます。ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。
English：画面表示の言語が英語になります。

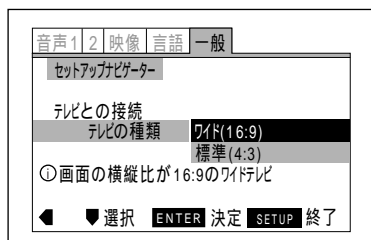
画面表示言語で選んだ言語は、字幕言語、音声言語で自動的に選択されます（58ページ）。

設定の途中で前の設定画面に戻るには

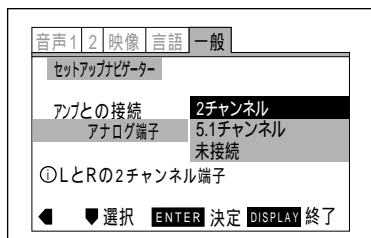
ジョイスティックを左に操作して、前の設定画面に戻ります。

■接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

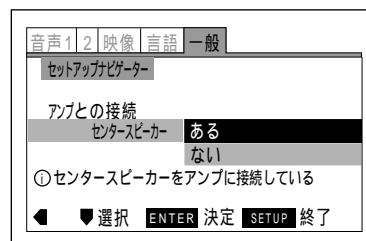
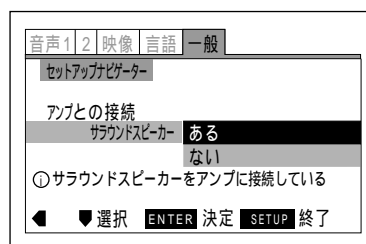
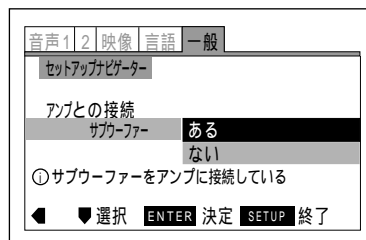
音声1 2 映像 言語 一般
セットアップナビゲーター
テレビとの接続
テレビの種類 ワイド(16:9)
標準(4:3)
ⓘ画面の横縦比が16:9のワイドテレビ
選択 ENTER 決定 SETUP 終了

ワイド(16：9)：ワイド(16：9)のテレビと接続したとき選択します。
標準(4：3)　：従来サイズ(4：3)のテレビと接続したとき選択します。

■接続したアナログ端子を選ぶ

17ページで接続したアナログ音声出力端子のチャンネル数に合わせて設定します。ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

2チャンネル　：本機の音声出力(2CH)端子に接続したとき選択します。
5.1チャンネル：本機のマルチチャンネル音声出力(5.1CH）端子に接続したとき選択します。
未接続　　　：本機のアナログ音声出力端子に接続していないとき選択します。

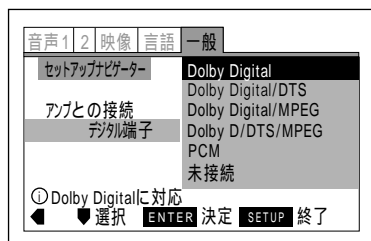
■アンプに接続したスピーカーを選ぶ

「接続したアナログ端子を選ぶ」の設定で[5.1チャンネル]を選択した場合は、スピーカーの設定が必要になります。各スピーカーと接続してある場合は[ある]、接続してない場合は[ない]を選択します。
ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

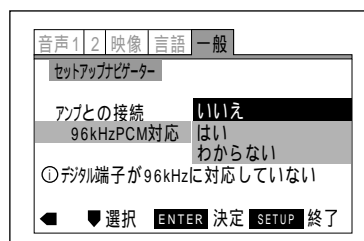
[センタースピーカー]

[サラウンドスピーカー]

[サブウーファー]

ある：スピーカーを接続しているとき選択します。
ない：スピーカーを接続してないとき選択します。

［センタースピーカー］と［サラウンドスピーカー］の両方を「ない」に設定した場合、［サブウーファー］の設定は自動的に「ない」になり、設定画面は表示されません。

■ アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

16ページで接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します。ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

Dolby Digital：
　本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。
Dolby Digital/DTS：
　本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタルおよびDTS対応のとき選択します。
Dolby Digital/MPEG：
　本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタルとMPEG対応のとき選択します。
Dolby D/DTS/MPEG：
　本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS、MPEG対応のとき選択します。
PCM：
　本機と接続したアンプがステレオアンプまたはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。
未接続：
　アンプに接続していないとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の「96kHzPCM対応」の設定は必要がないため、右ページの「セットアップナビゲーターを終了する」へ移ります。

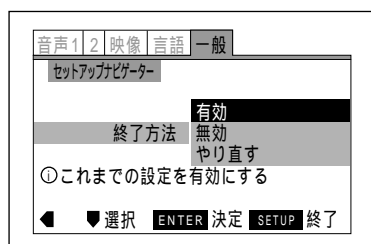
■ 接続したアンプが96 kHz音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプが96 kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。ジョイスティックを上下に操作して選び、ENTERボタンを押します。

いいえ　　：本機と接続したアンプが96kHzに対応していないとき選択します。
はい　　　：本機と接続したアンプが96kHzに対応しているとき選択します。
わからない：本機と接続したアンプが96kHzに対応しているかどうかわからないとき選択します。

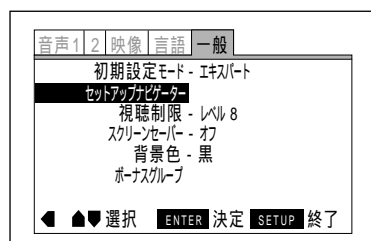
[いいえ]、[わからない]を選択したときは、DVDの音声が96kHzであっても48kHzにダウンサンプリングした信号が出力されます。

■ セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にするか無効にするか、やり直すかを選択します。

1. ジョイスティックを上下に操作して[終了方法]を選び、ENTER ボタンを押す

有効　　：これまでの設定内容を有効にします。
無効　　：これまでの設定内容を無効にします。
やり直す：セットアップナビゲーターを使って行った設定をはじめからやり直します。

2. [有効]または[無効]を選んでENTERボタンを押す

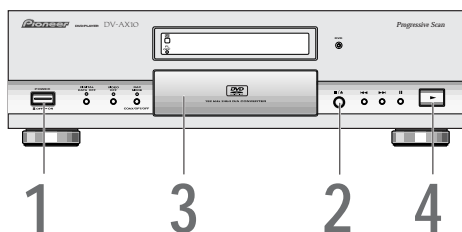
設定を終了し、下の画面になります。

3. 初期設定（SETUP）ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

- セットアップナビゲーターでは基本的な設定を行います。本機のより細かな設定は初期設定画面で行います（48ページ以降）。
- セットアップナビゲーターの設定を出荷時に戻すには、電源オフの状態で、本体の停止／オープン・クローズ（■/⏏）ボタンを押しながら本体の電源ボタンを押してください(64ページ)。

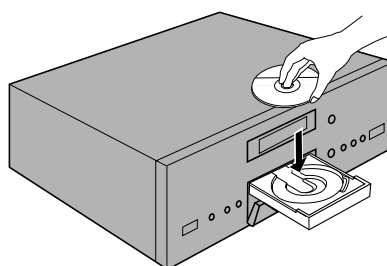
基本的な使いかた

ディスクを再生する

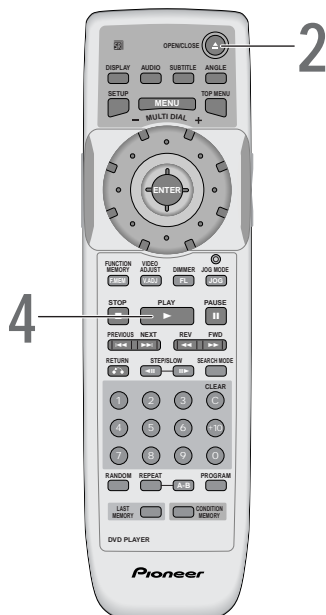
DVD SACD CD VIDEO CD

1. **本体の電源ボタンを押す**

2. **オープン／クローズ（▲）ボタンを押す**

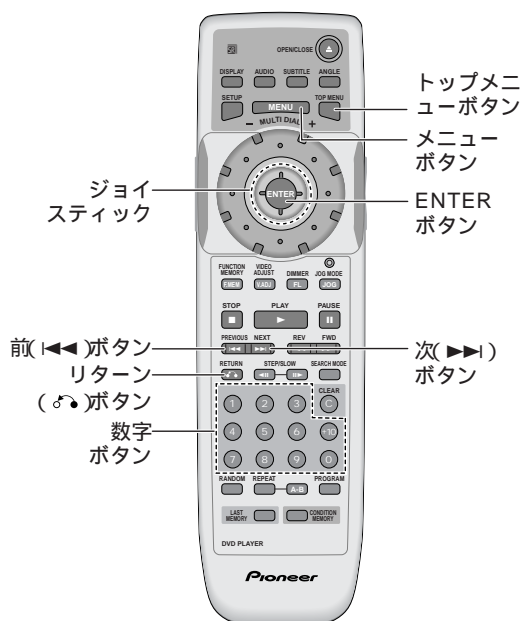
ディスクテーブルが開きます。

3. **ディスクテーブルのミゾに合わせて、ディスクを置く**

4. **再生（►）ボタンを押す**

ディスクテーブルが閉まり、再生を開始します。

ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。その場合は右ページをご覧ください。

- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。ディスクの取り扱いについては65ページをご覧ください。
- プログラムメモリー（39ページ）をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

メニュー画面が表示されたとき DVD VIDEO CD

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

■ DVDのとき

ジョイスティックを上下左右に動かして選択項目を選び、ENTERボタンを押す

リモコンの数字ボタンを押して選択項目を選ぶこともできます。

メニュー画面の例）

■ VIDEO CDのとき

数字ボタンで選ぶ

メニュー画面が２ページ以上ある場合は、前（|◀◀）／次（▶▶|）ボタンを押してページをめくったり、戻したりします。

メニュー画面の例）

メニュー画面を表示させるには

ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なりますが、ＤＶＤでは再生中にメニューボタンまたはトップメニューボタン、ビデオCDではPBC再生中にリターンボタンを押します。

メニュー画面を消すには

上記の「メニュー画面を表示させるには」と同じボタンを押します。

メニュー画面を出さずに（PBC再生をしないで）再生する VIDEO CD

停止中に前（|◀◀）／次（▶▶|）ボタンまたは数字ボタンを押して、再生したいトラックを選びます。

メニュー画面上での操作についてはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

見たい項目にスキップする（頭出し） DVD SACD CD VIDEO CD

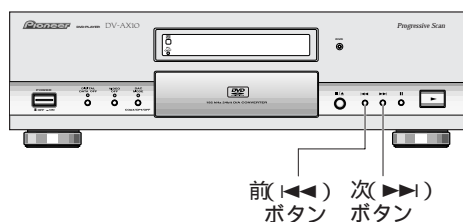
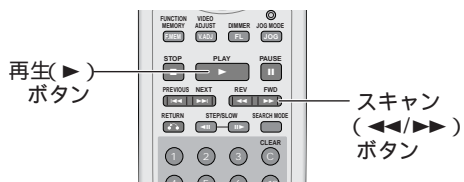
■ 次のチャプター／トラックへ進む

再生中に、リモコンまたは本体の次（▶▶|）ボタンを押す

一度押すと次のチャプター／トラックに進みます。

■ 前のチャプター／トラックへ戻る

再生中に、リモコンまたは本体の前（|◀◀）ボタンを押す

一度押すと再生中のチャプター／トラックの始めに戻ります。
連続して押すと前のチャプター／トラックの始めに戻ります。

早送り／早戻しする（スキャン） DVD SACD CD VIDEO CD

■ 早送り

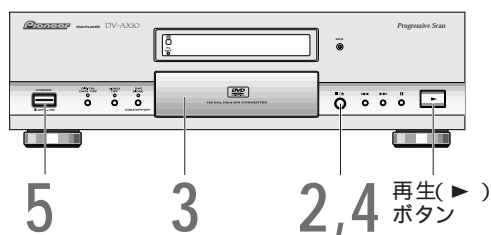
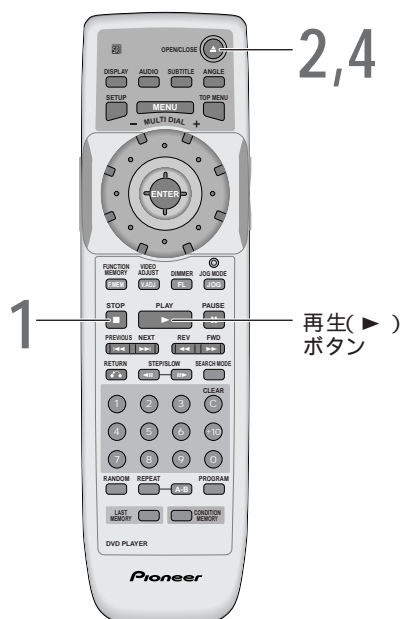
1. **再生中にスキャン（▶▶）ボタンを押し続ける**
2. **見たい／聞きたい場所で、指を離す**
   その場所から再生が始まります。

■ 早戻し

1. **再生中にスキャン（◀◀）ボタンを押し続ける**
2. **見たい／聞きたい場所で、指を離す**
   その場所から再生が始まります。

ホールドスキャンについて

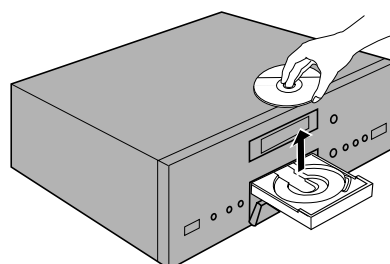
再生中に画面表示の " スキャン " が点滅から点灯に変わるまで(約5秒間)スキャンボタンを押しつづけると、ボタンから指を離しても、スキャン（早送り／早戻し）しつづけます。見たい／聞きたい場所まできたら、再生（▶）ボタンを押してください。

再生を止める DVD SACD CD VIDEO CD

1. 停止（■）ボタンを押す

DVDビデオまたはビデオCDでは、停止した場所を記憶します。詳しくは下記のリジューム機能の説明をご覧ください。

2. オープン／クローズ（▲）ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

3. ディスクを取り出す

4. オープン／クローズ（▲）ボタンを押す

ディスクテーブルが閉まります。

5. 本体の電源ボタンを押す

停止した場所を記憶する（リジューム機能） DVD VIDEO VIDEO CD

再生中に停止（■）ボタンを押すと、本体の表示窓に「RESUME」と表示され、停止した場所を記憶します。そしてもう一度、再生（►）ボタンを押すと、その場所から再生を始めます。（これをリジューム機能といいます。）

リジューム機能を解除する DVD VIDEO VIDEO CD

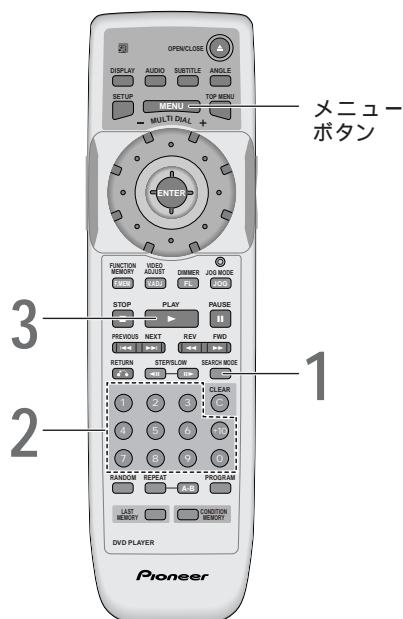
ディスクを取り出すか、停止中にもう一度リモコンの停止（■）ボタンを押します。本体表示窓の「RESUME」が消え、この機能は取り消されます。

リジューム機能について

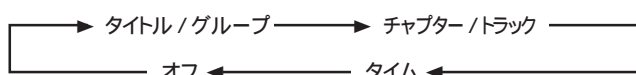
- DVDビデオでは、リジューム機能が働いているとき前（I◄◄）ボタンまたは次（►►I）ボタンを押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能が解除されているとき再生（►）ボタンを押すとタイトル1の始めから再生します。
- ディスクによっては停止したところから再生できないものがあります。
- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されますが、ディスクの入れ替えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶しておけるラストメモリー機能（40ページ）もあります。
- DVDオーディオ、SACD、CDではリジューム機能は働きません。

便利な使いかた

見たい／聞きたい場所を探す（サーチモード）DVD SACD CD VIDEO CD

DVDビデオではタイトルとチャプター、DVDオーディオではグループとトラック、SACD、CDまたはビデオCDではトラックを指定して見たい／聞きたい場所を探せます。また、再生を開始する時間を指定して探すこともできます（タイムサーチ）。

1. サーチモードボタンを押して、サーチの種類を選ぶ

押すたびに以下のようにサーチの種類が変わります。

タイトル／グループ → チャプター／トラック → タイム → オフ → タイトル／グループ

2. 数字ボタンを押して、希望のタイトル／グループ、チャプター／トラック、または再生を開始したい時間を選ぶ

タイトル／グループ、チャプター／トラックサーチのとき

例）3 を選ぶには、3 を押します。
　10 を選ぶには、1 と 0 を押します。
　37 を選ぶには、3 と 7 を押します。

タイムサーチのとき

例）21 分 43 秒を選ぶには、2、1、4、3 と押します。
例）1 時間 14 分（=74 分 00 秒）を選ぶには、7、4、0、0 と押します。

3. 再生ボタン（▶）を押す

指定した場所から再生します。

- DVDオーディオの中には静止画が入っているものがあります（69ページ）。静止画の種類によってはサーチモードボタンを押すと、静止画の番号「ページ」を指定して探すことができます。
- DVDオーディオやSACD、CDではタイムサーチはできません。
- DVDビデオでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生時には、タイムサーチはできません。タイムサーチを行うにはPBC再生を止めてください（23ページ）。
- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、メニューボタンを押してメニューを表示させて選択してください（23ページ）。
- DVDビデオまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は🚫マークが画面に表示されます。

■ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、数字ボタンを押すだけで見たい／聞きたい場所を探すことができます。

DVDのとき

停止中に、数字ボタンを押して希望のタイトル / グループを選ぶ。再生中に、数字ボタンを押して希望のチャプター / トラックを選ぶ

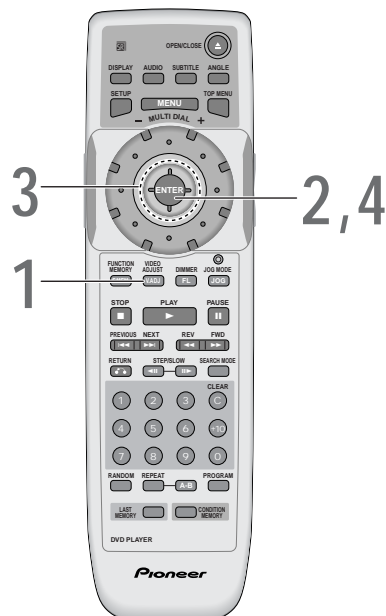
VIDEO CD SACD CDのとき

再生中に、数字ボタンを押して希望のトラックを選ぶ

例）3 を選ぶには、3 を押します。
　10 を選ぶには、+10 と 0 を押します。
　37 を選ぶには、+10、+10、+10 と 7 を押します。

画質を調整する

DVD VIDEO CD

テレビやプロジェクターなど、ご使用のモニターの種類に合わせてそれらに最適な画質設定を選べます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくことも可能です。
再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。

■ あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1. 画質調整（V.ADJ）ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

2. ENTERボタンを押す

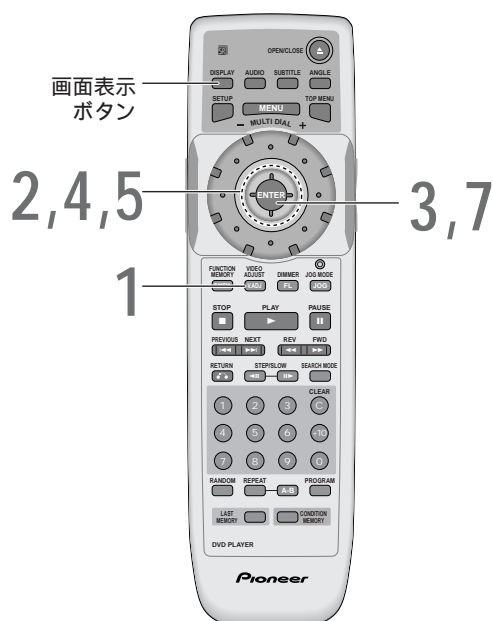
テレビ(CRT)	プロジェクター	プロフェッショナル
メモリー1	メモリー2	メモリー3

3. ジョイスティックで好みの画質を選ぶ

テレビ(CRT)　：TV (CRT) モニターに適した画質です。
プロジェクター　：プロジェクターに適した画質です。
プロフェッショナル　：プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です。

「メモリー 1」、「メモリー 2」、「メモリー 3」には、好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの「好みの画質に調整する」をご覧ください。

4. ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。

■ 好みの画質に調整する

1. 画質調整ボタン(V.ADJ)を押す

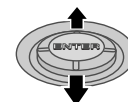
画質調整画面が表示されます。

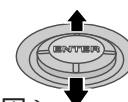
ビデオメモリー選択
ビデオ設定

2. [ビデオ設定] を選ぶ

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

3. ENTER ボタンを押す

プログレモーション fast├┼┼┼┼┼┼┤slow
▲▼ 選択　ENTER 決定　DISPLAY 確認

4. 調整する項目を選ぶ

調整できる項目数は 14 です。
画面表示ボタンを押すと、調整項目一覧（下図）を画面に表示します。

ページ 1/2	
プログレモーション	fast├┼┼┼┼┼┼┤slow
ピュアシネマ	Auto　On　Off
YNR	off├┼┼┼┼┼┼┤max
CNR	off├┼┼┼┼┼┼┤max
NR	off├──────┤max
シャープネスHigh	soft├┼┼┼┼┼┼┤fine
シャープネスMid	soft├┼┼┼┼┼┼┤fine
ディテール	off├┼┼┼┼┼┼┤max
メモリー	Off　1　2　3

▼

▲

ページ 2/2	
白レベル	min├┼┼┼┼┼┼┤max
黒レベル	min├┼┼┼┼┼┼┤max
黒セットアップ	0 IRE　7.5 IRE
色あい	green├┼┼┼┼┼┼┤red
色の濃さ	min├┼┼┼┼┼┼┤max
クロマディレイ	- ├┼┼┼┼┼┼┤ +
メモリー	Off　1　2　3

プログレモーション　：プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向き、静止画向きの映像に調整します。

ピュアシネマ　：プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は[Auto]に設定しますが、映像が不自然なときは[On]または[Off]にします(右ページのmemoをご覧ください)。

YNR　：輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR　：色(C)信号のノイズを軽減します。

NR　：映像のノイズを軽減します(プログレッシブスキャン映像では効果はありません)。

シャープネスHigh　：高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

シャープネスMid　：中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール　：画像の輪郭を強調します。

白レベル　：白色のレベルを調整します。

黒レベル　：黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ　：黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。

色あい　：緑色と赤色のバランスを調整します(プログレッシブスキャン映像では効果はありません)。

色の濃さ　：色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

クロマディレイ　：映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。

[テレビ画面]の設定を[レターボックス(4:3)]または[パンスキャン(4:3)]にしてDVDを再生しているときに調整項目一覧を表示させると、画面が[ワイド(16:9)]に切り換わることがあります。これは故障ではありません。画面を閉じると元の設定に戻ります。

5. レベルを調整する

6. 手順4と5を繰り返して、すべての項目を調整する

設定した内容を記憶させせたいときは[メモリー]を選び、[1]、[2]、[3]のいずれかに記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

メモリー　Off　1　2　3
▲▼選択　ENTER 決定　SETUP 確認

7. ENTERボタンを押す

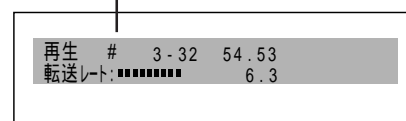
画質調整画面が消えます。なお、ENTERボタンを押さないと、調整した内容を[メモリー]に記憶することができません。

はじめに
接続と準備
基本操作
応用操作
初期設定
その他

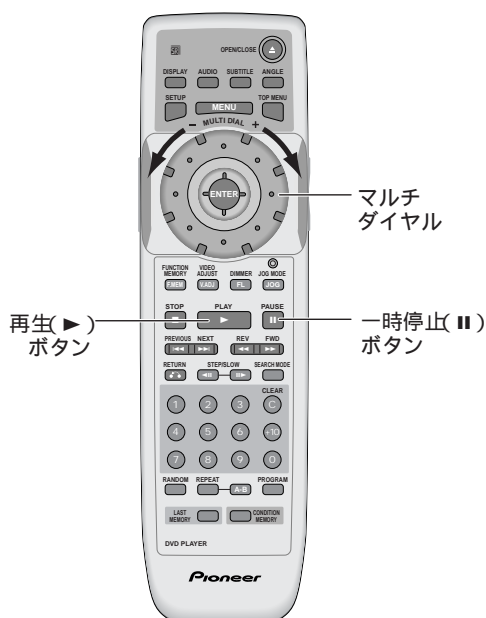
「ピュアシネマ」モードについて

DVDの映像信号には次の2種類があります。
・「ビデオ素材」といわれる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
・「フィルム素材」といわれる映像情報を毎秒24コマで記録した信号
フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマ（24Hz）で記録されており、この「ピュアシネマ」モードは、そのような毎秒24コマで記録された映像情報を毎秒60コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。この設定は通常、[Auto]でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのような場合は設定を[Off]または[On]に変更してご覧ください。

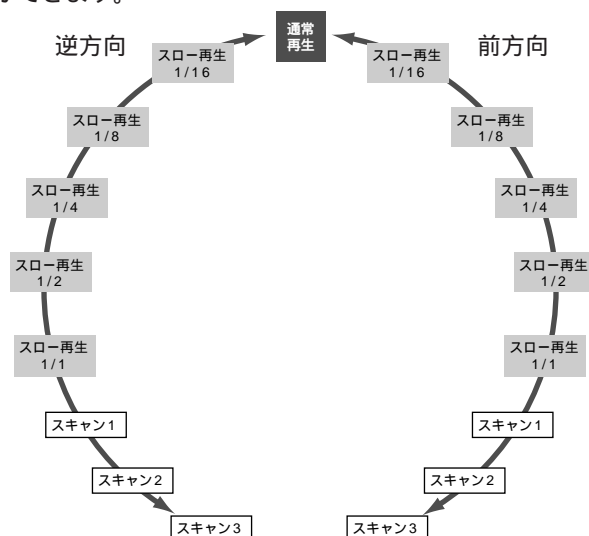
フィルム素材の（毎秒24コマで記録された）DVDが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。

24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に、「#」が表示されます。

ディスクの情報画面を表示するには、画面表示（DISPLAY）ボタンを押します。繰り返し押すと上記の画面になります（詳しくは46ページをご覧ください）。

マルチダイヤルを使った特殊再生 DVD SACD CD VIDEO CD

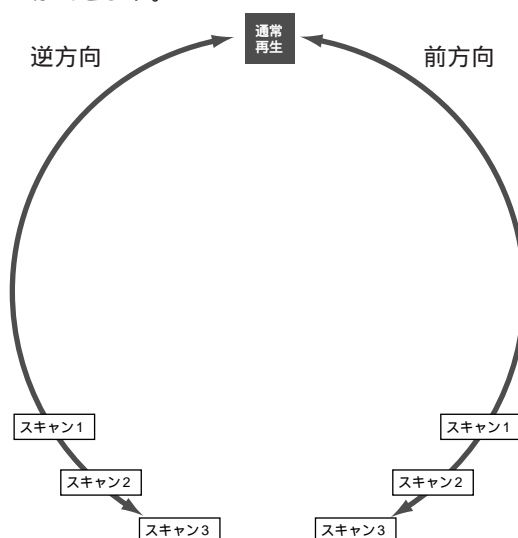
マルチダイヤルを使って、再生する速度を様々に変えて楽しむことができます。速度を変える再生には「スロー再生」、「コマ送り再生」と「スキャン」があります。特殊再生中は音声が出力されません。

■スロー再生／スキャン

マルチダイヤルをゆっくり回したとき

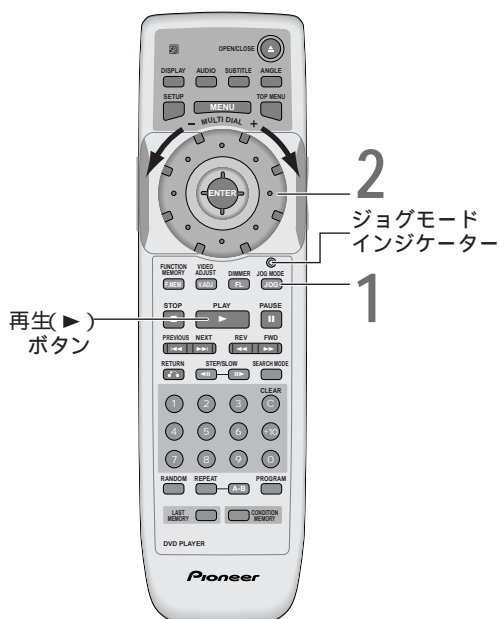
マルチダイヤルを左右にゆっくり回すと、下記のように再生速度を変えることができます。

特殊再生の方向をすばやく変えたいとき、例えば、前方向のスロー再生中にすぐに逆方向のスロー再生をしたいときなどは、一時停止(❚❚)ボタンを押してからマルチダイヤルを反対の方向に回すと、再生方向が変わります。

- SACDやCD、映像信号が記録されていないDVDオーディオではスキャンのみできます。SACD、CDのスキャン中は音声が出力されます。
- ビデオCDまたはCDのスキャンではスキャン2まで、速度を変えることができます。
- ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。
- DVDではタイトルによってスロー再生ができないものもあります。その場合はマークまたはマークが画面に表示されます。
- ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- 逆方向のスロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
- ディスクによってはチャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

マルチダイヤルをすばやく回したとき

マルチダイヤルを左右にすばやく回すと、下記のようにスキャンの速度を変えることができます。

通常の再生に戻すには

スロー再生またはスキャン中、マルチダイヤルを現在再生している方向の逆へすばやく回すと通常の再生に戻ります。

- スロー再生またはスキャン中、再生（►）ボタンを押しても通常の再生に戻ります。

■ コマ送り再生

ジョグモードボタンを押してジョグモードインジケーターを点灯させせると、マルチダイヤルを使ってコマ送り再生を楽しむことができます。

1. ジョグモードボタンを押す

ジョグモードインジケーターが点灯します。

2. マルチダイヤルを回す

右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。

- 回す速度に合わせて再生の速度も変わります。
- 回すのを止めると一時停止になります。

通常の再生に戻すには

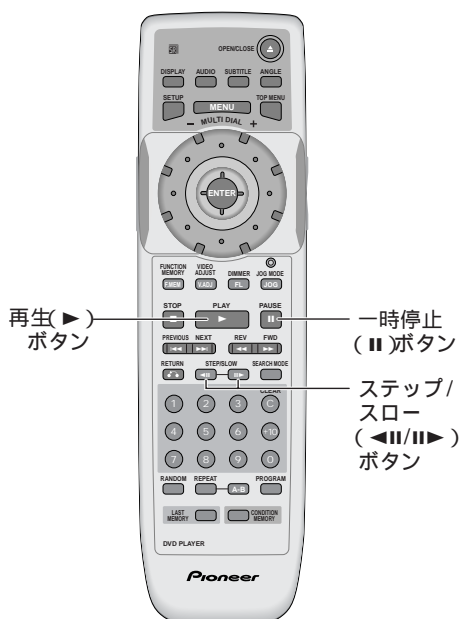
再生（►）ボタンを押します。

コマ送り再生を解除するには

ジョグモードボタンを押します。

- ジョグモードインジケーターが消えます。

- DVDオーディオのブラウザブル静止画（69ページ）を再生しているときは、静止画のコマ送り再生ができます。
- DVDではタイトルによってコマ送り再生、コマ戻し再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上に⊘が表示されます。
- ビデオCDではコマ戻し再生ができません。
- コマ戻し再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。

静止画／速さを変えて再生する　DVD VIDEO CD

■ 画像を止めて見る（静止画再生）

再生中に一時停止（II）ボタンを押す

静止画再生を止めて、通常の再生に戻すには

再生（►）ボタンまたは一時停止（II）ボタンを押します。

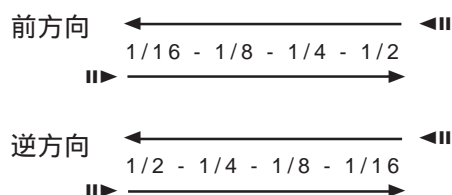
■ 画像をスローで見る（スロー再生）

スロー再生が始まるまでステップ／スロー（◄II／II►）ボタンを押し続ける

◄II：逆方向

II►：前方向

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にステップ／スロー（◄II/II►）ボタン を押すと、スロー再生の速さを4段階に変えることができます。

再生方向を変えるには、一時停止(II)ボタンを押してからステップ／スロー（◄II/II►）ボタン を押します。

スロー再生を止めて、通常の再生に戻すには

再生（►）ボタンを押します。

■ 画像をコマ送りで見る（コマ送り再生）

静止画再生中(一時停止中)にステップ／スロー(◄II／II►)ボタンを押す

1 度押すと 1 コマ送ります。

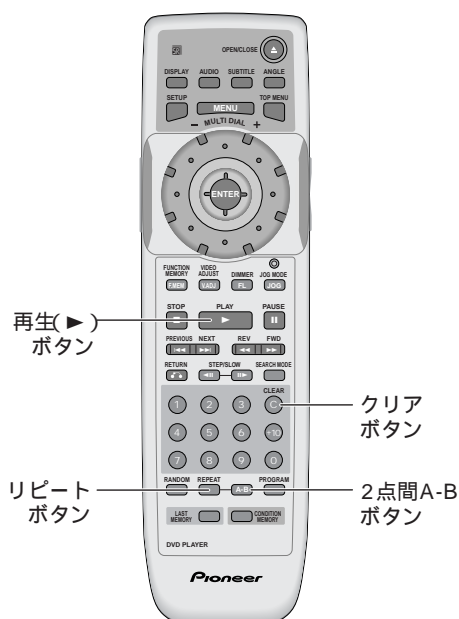
◄II：逆方向

II►：前方向

コマ送り再生を止めて、通常の再生に戻すには

再生（►）ボタンを押します。

- マルチダイヤルを使ってもスロー再生やコマ送り再生を楽しむことができます（30、31ページ）。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- DVDオーディオでも映像が記録されているトラックでは、静止画、スロー再生、コマ送り再生ができます。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください（55ページ）。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないものもあります。その場合はマークまたはマークが画面に表示されます。
- ビデオCDでは逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。
- スロー再生、コマ送り再生については「マルチダイヤルを使った特殊再生」のmemoもあわせてご覧ください（30、31ページ）。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD SACD CD VIDEO CD

■ チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

繰り返したいチャプターまたはトラックを再生中に、リピートボタンを 1 回押す

再生中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生します。

■ 1つのタイトルまたはグループを繰り返し再生する

繰り返したいタイトルまたはグループを再生中に、リピートボタンを 2 回押す

再生中のタイトルまたはグループを繰り返し再生します。SACD、CDまたはビデオCDではそのディスク全体を繰り返し再生します。

■ 指定した範囲を繰り返し再生する

1. **再生中に、繰り返したい範囲の始めで 2 点間 A-B ボタンを押す**
2. **繰り返したい範囲の終わりで 2 点間 A-B ボタンを押す**

   指定した範囲を繰り返し再生します。

■ 指定した箇所に戻る

1. **再生中に、戻る先として指定したい箇所で 2 点間 A-B ボタンを押す**
2. **戻りたいときに再生（▶）ボタンを押す**

   指定した箇所に戻って再生します。

■ リピート再生を止める

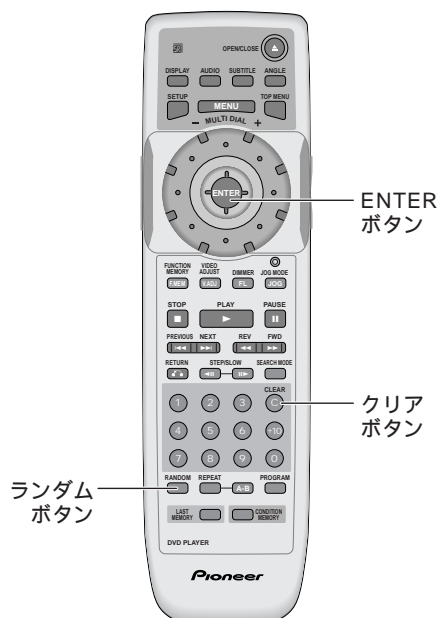
クリアボタンを押す

リピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。
また、リピートボタンを押して「オフ」を選んでも、リピート再生は解除されます。

- SACDでは 範囲を指定してのリピートと、指定した箇所に戻ることはできません。
- DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、🚫マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生するには、ディスクを停止中、繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力してから、リピートボタンを押します。
- プログラム再生中（35ページ）にリピートボタンを押すと、プログラムを繰り返し再生します。

はじめに
接続と準備
基本操作
応用操作
初期設定
その他

順不同に再生する（ランダム再生）　DVD CD VIDEO CD

DVDビデオのタイトルやチャプター、DVDオーディオのグループやトラック、ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

■ チャプターまたはトラックをランダム再生する　DVD

再生中にランダムボタンを1回押し、ENTERボタンを押す

再生しているタイトル内のチャプター、または再生しているグループ内のトラックを順不同に再生します。

■ タイトルまたはグループをランダム再生する　DVD

再生中にランダムボタンを2回押し、ENTERボタンを押す

タイトルまたはグループを順不同に再生します。

■ トラックをランダム再生する　CD VIDEO CD

再生中にランダムボタンを押す

順不同に再生します。

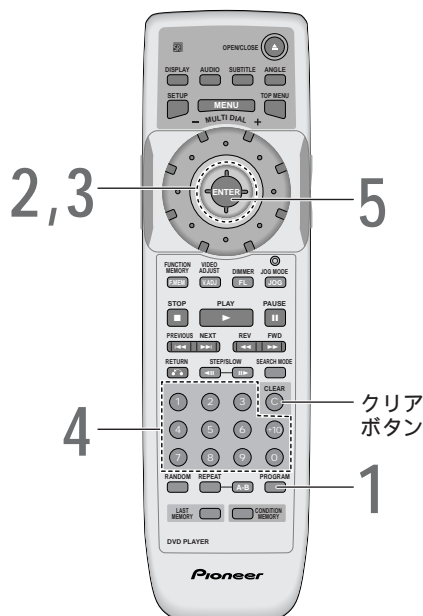
■ ランダム再生を止める

クリアボタンを押す

現在再生されているチャプター／トラックから通常の再生に戻ります。

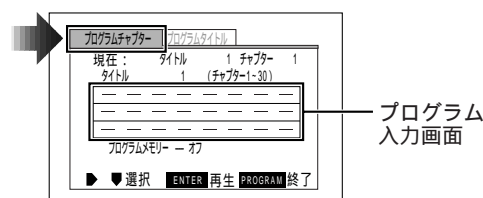
- ランダム再生中に次（▶▶I）ボタンまたはランダムボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に前（I◀◀）ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクが停止中にトラック番号を数字ボタンで入力してから、ランダムボタンを押します。
- プログラム再生（35ページ）のランダム再生はできません。
- DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
- ランダム再生を繰り返すこと（リピート）はできません。
- SACDではランダム再生はできません。

順番を変えて再生する（プログラム再生） DVD CD VIDEO CD

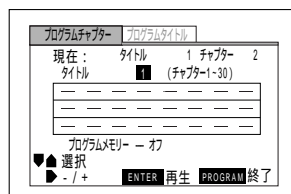
ディスクを希望の順番に並べ替えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

■DVDのとき

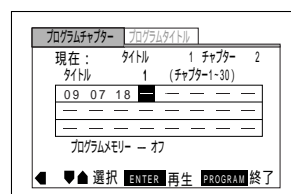
1. **プログラムボタンを押す**

プログラム画面が表示されます。

2. **ジョイスティックを左右に動かして［プログラムチャプター］または［プログラムタイトル］（［プログラムトラック］または［プログラムグループ］）を選ぶ**

3. **ジョイスティックを下に動かしてカーソルをプログラム入力画面に移動させる**

［プログラムチャプター］［プログラムトラック］でタイトル / グループを変えるには

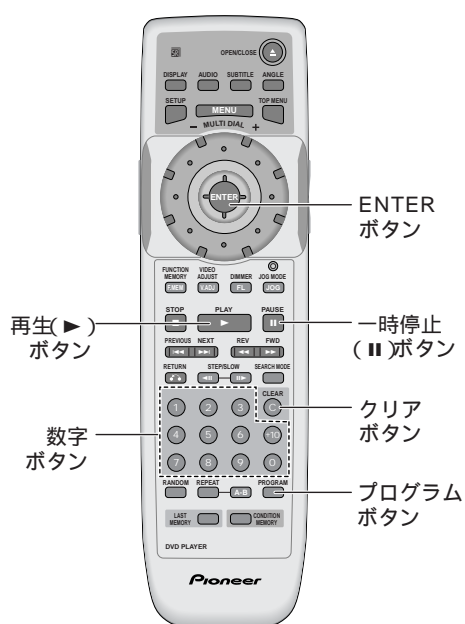
プログラムしたいタイトルやグループを変えたい場合は、プログラム入力画面の最上段でジョイスティックを上に動かし、数字ボタンを押して指定します。

4. **プログラム再生したい順にタイトル/グループまたはチャプター / トラックを、数字ボタンで指定する**

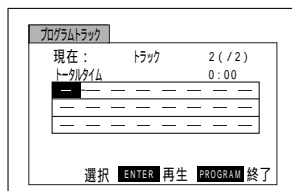
例）9、7、18 の順にプログラムするには 9、7、+10、8 と押します。

5. **ENTER ボタンを押す**

指定した順に再生を開始します。

•プログラム再生をしないでプログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

- DVDの場合、ディスクによってはプログラムできないものがあります。そのようなディスクでは、画面にマークが表示されます。
- チャプター（トラック）のプログラムは、同じタイトル（グループ）内のチャプターでのみプログラムできます。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
- SACDではプログラム再生はできません。

■ CD VIDEO CD のとき

1. プログラムボタンを押す

プログラム画面が表示されます。

2. プログラム再生したい順にトラックを、数字ボタンで指定する

例）トラックを 9、7、18 の順にプログラムするには、
9、7、+10、8 と押します。

3. ENTER ボタンを押す

指定した順に再生を開始します。

・プログラム再生をしないでプログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

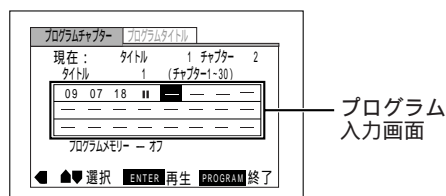
■ プログラム再生を止める

再生中にクリアボタンを押す

通常の再生に戻ります。
なお、停止中にクリアボタンを押した場合は、プログラムが消去されます（38 ページ）。

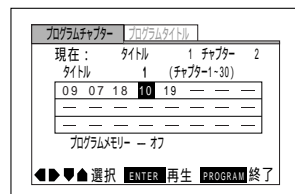
■ 一時停止をプログラムする

プログラム入力画面で一時停止（II）ボタンを押す

「 II 」が表示され、一時停止がプログラムされます。

・一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル / グループ、チャプター／トラックの始めで一時停止します。プログラム再生をつづけるには、再生（►）ボタンを押してください。

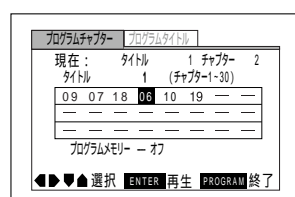
・ビデオCDのPBC再生時にはプログラム再生はできません。プログラム再生を行うにはPBC再生を止めてください（23ページ）。
・ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えてしまいます。DVDビデオでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます（39ページ）。
・プログラムの最初と最後には、一時停止はプログラムできません。
・連続して2回以上、一時停止をプログラムすることはできません。

■ プログラムを追加する

1. ジョイスティックを上下左右に動かして、挿入したい箇所を指定する

2. 数字ボタンを押す

指定された番号は後へ移動し、新しい番号が挿入されます。

• プログラム再生を開始するにはENTERボタンを押します。プログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

memo

プログラムを追加するとき、すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときは、クリアボタンで消去してから追加してください。

■ 映像や音を確認しながらプログラムする

ディスクを再生して、映像や音を確認しながら、チャプター／トラックをプログラムすることができます。

1. プログラムしたいチャプターまたはトラックを再生中に、プログラムボタンを1秒以上押す

左のような画面が表示されます。

2. さらにプログラムに追加したいときは、手順1を繰り返す

順次プログラムに追加されていきます。

プログラムボタンを押す

プログラム画面の内容を確認します。

再生を始めるにはENTERボタンを押す

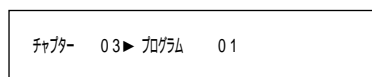
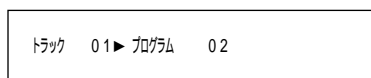
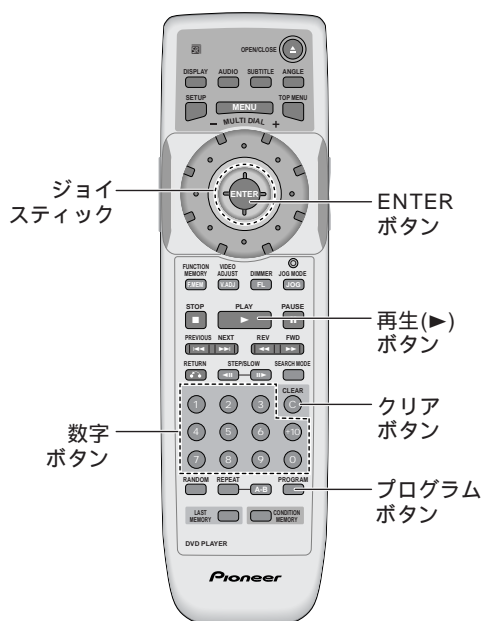
プログラム再生を終了するにはプログラムボタンを押してください。

DVDのとき

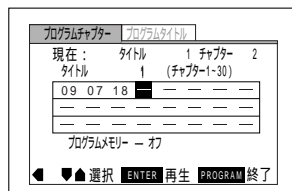
チャプター 03 ▶ プログラム 01

CD VIDEO CDのとき

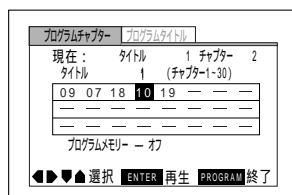
トラック 01 ▶ プログラム 02

memo

- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに、新しいプログラムが追加されます。
- 「プログラムタイトル」が入力された状態でこの機能を使った場合は、チャプターではなく、タイトルがプログラムされます。
- すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときは🚫が表示され、新しくプログラムを入力することはできません。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは🚫が表示され、プログラムを入力することができません。

■ プログラムを確認する

プログラムボタンを押す

DVDではさらにジョイスティックを左右に動かして［プログラムチャプター］/［プログラムトラック］または［プログラムタイトル］/［プログラムグループ］を選びます。

プログラム再生を開始するにはENTERボタンを押します。
プログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

■ プログラムの内容を1つずつ消去する

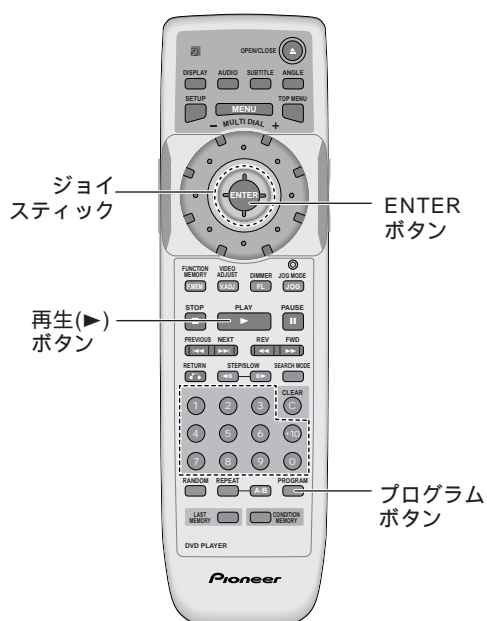
1. ジョイスティックを上下左右に動かして、消去したい番号を指定する

2. クリアボタンを押す

指定された番号は消去され、後の番号が1つずつ前に移動します。

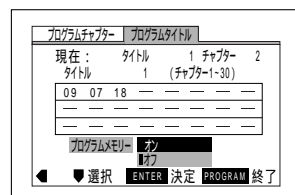
- プログラム再生を開始するにはENTERボタンを押します。プログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

■ プログラムをすべて消去する

プログラム画面が表示されていない停止中に、クリアボタンを押す

記憶させたプログラム内容がすべて消去されます。ただし、他のディスクのプログラムメモリー（次のページ）は消去されません。

■ プログラムを記憶する（プログラムメモリー） DVD VIDEO

本機はディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶できます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

ジョイスティックを上下左右に動かして「プログラムメモリー」の[オン]を選び、ENTER ボタンを押す

- プログラム再生を開始するには再生（►）ボタンを押します。
- プログラムを終了するには、プログラムボタンを押してください。

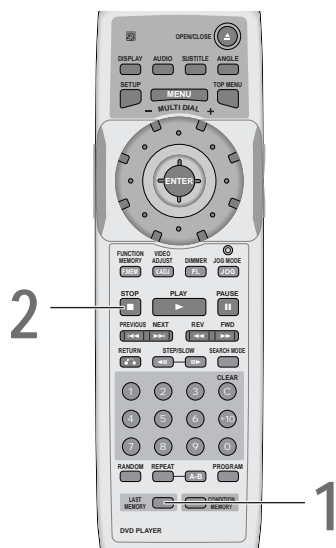
プログラムメモリーの記憶を消去するには

ジョイスティックを上下に動かして［プログラムメモリー］の［オフ］を選び、ENTERボタンを押してください。ただし、プログラム入力画面に数字は残ったままです。

エフディスクについて

この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

前に見たディスクのつづきを再生する（ラストメモリー） DVD VIDEO VIDEO CD

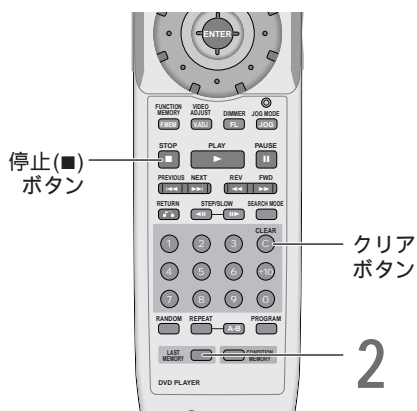
ラストメモリー機能を使うと、つづきから見る場所とそのときの設定内容をDVDビデオは5枚まで、ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。

■ つづきから見る場所を記憶する

1. **再生中にラストメモリーボタンを押す**
画面に「ラストメモリー」と表示されます。

2. **停止（■）ボタンを押す**

■ つづきから見るには

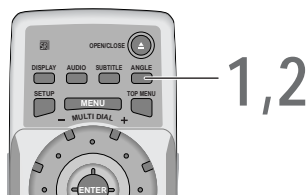
1. **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
DVDビデオの中には、ディスクを入れると自動的に再生をはじめるものがあります。この場合、停止（■）ボタンを押して再生を止めてください。

2. **停止中にラストメモリーボタンを押す**

ラストメモリーを消去するには

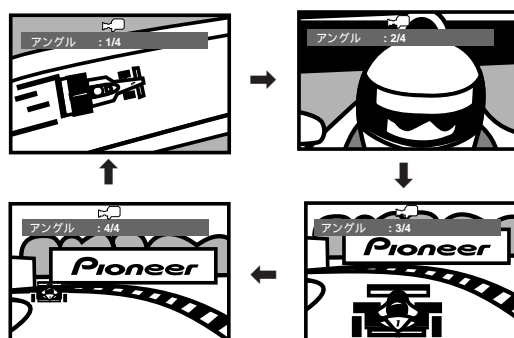
ラストメモリーボタンを押して、画面に「ラストメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押します。表示窓の「LAST MEMO」インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

- リジューム機能（25ページ）とは異なり、一度記憶すると、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。
- DVDビデオの場合、ディスクによってはラストメモリーできないことがあります。
- DVDビデオでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
- ビデオCDでは、１枚のみ記憶することができますが、ディスクを取り出すと記憶が消去されます。
- ビデオCDでは、PBC再生をしたときは、ラストメモリー再生ができない箇所があります。ラストメモリー再生ができないときは、メニューを出さずに再生してください（23ページ）。

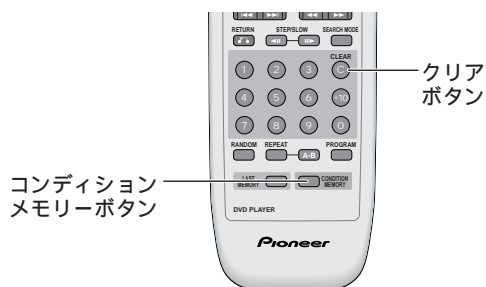
映像のアングルを切り換える（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。
複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには マークが付いています。

1. **再生中、 マークが表示されたら、アングルボタンを押す**

2. **さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ**

押すたびに、アングルが切り換わります。

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、 マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- マークを表示させたくないときは、初期設定画面の［アングルインジケーター］を［オフ］にします（56ページ）。

よく見る DVD の設定を記憶させる（コンディションメモリー） DVD VIDEO

コンディションメモリー機能を使うと、よく見るDVDビデオの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。

ディスクが入った状態でコンディションメモリーボタンを押す

画面に「コンディションメモリー」と表示されます。
記憶できる設定は以下の 6 つです。

・画質調整（27 ページ）
・マルチアングル（41 ページ）
・視聴制限（42 ページ）
・画面表示位置（56 ページ）
・音声言語（58 ページ）
・字幕言語（58 ページ）

記憶してあるディスクを入れると

画面に「コンディションメモリー」と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には「CONDITION MEMO」インジケーターが点灯します。

コンディションメモリーを消去するには

コンディションメモリーボタンを押して、画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押します。表示窓の「CONDITION MEMO」インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

memo

- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 一度記憶すると電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。

視聴制限をする（パレンタルロック） DVD VIDEO

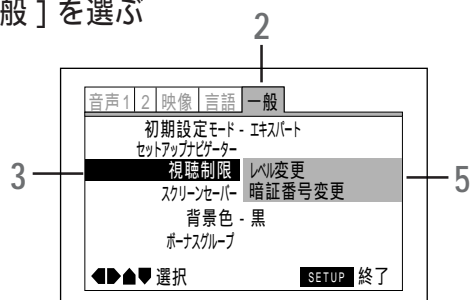
暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためには暗証番号の入力が必要です。
再生中は、パレンタルロックレベルの設定・変更はできません。

■ レベルを設定する

視聴制限のレベルと、暗証番号を設定します。

1. リモコンの初期設定（SETUP）ボタンを押す

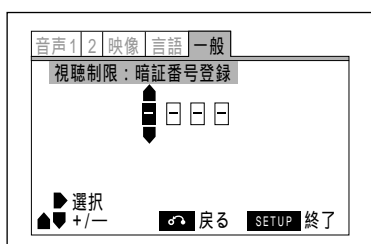
初期設定画面が表示されます。

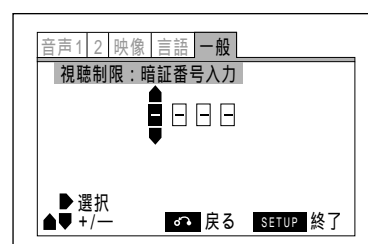
2. ジョイスティックを左右に動かして［一般］を選ぶ

3. ジョイスティックを上下に動かして［視聴制限］を選ぶ

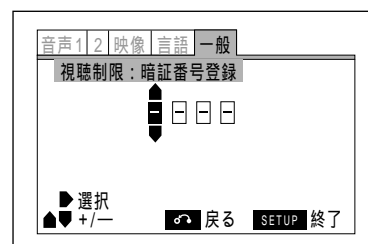
4. ジョイスティックを右に動かす

5. ジョイスティックを上下に動かして［レベル変更］を選び、ENTERボタンを押す

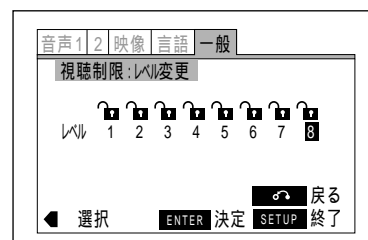
（暗証番号がまだ登録されていないとき）

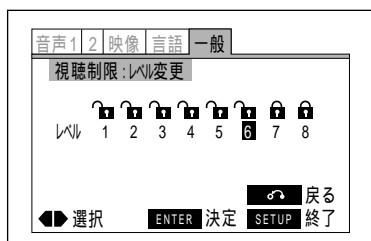
暗証番号登録の画面が表示されます。

（暗証番号がすでに登録されているとき）

暗証番号入力の画面が表示されます。

6. 数字ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力する

1桁ごとにジョイスティックを上下に動かして、数字を選択することもできます。ジョイスティックを左右に動かし、桁を移動します。

7. ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。

・ 出荷時の設定はレベル 8（制限しない）に設定されています。

7. ジョイスティックを左右に動かしてレベルを選ぶ

例えばレベル６を選んだ場合は、レベル７とレベル8のディスクに対して視聴制限がされます。

8. ENTERボタンを押す

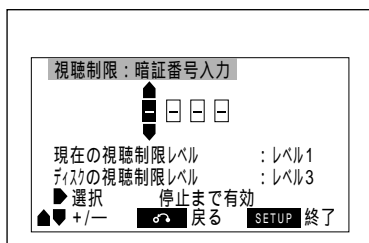
視聴制限のレベルが設定されます。

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れたときは、出荷時の設定に戻して（64ページ）、設定し直してください。

■ 視聴制限できるDVDビデオを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

1. 数字ボタンで暗証番号を入力する

1桁ごとにジョイスティックを上下に動かして、数字を選択することもできます。ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。

2. ENTERボタンを押す

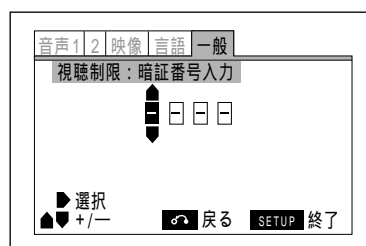
再生が始まります。

ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

■ 暗証番号を変更する

1. 前ページ「レベルを設定する」の手順１～４の操作を行う

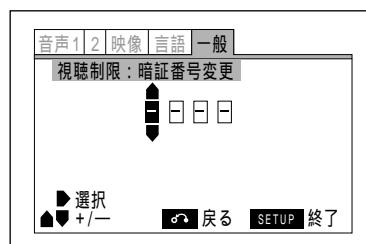
2. ジョイスティックを上下に動かして［暗証番号変更］を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

3. 数字ボタンを押して、現在の暗証番号を4桁で入力する

1桁ごとにジョイスティックを上下に動かして、数字を選択することもできます。ジョイスティックを左右に動かして、桁を移動します。

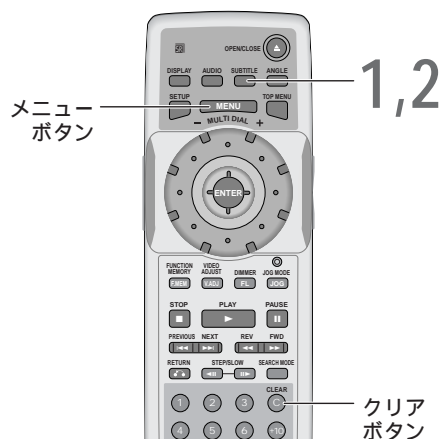
4. ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。

5. 数字ボタンを押して、新しい暗証番号を4桁で入力する

6. ENTERボタンを押す

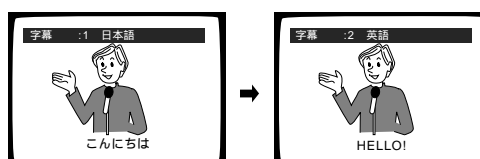
暗証番号が変更されます。

再生中に字幕を切り換える DVD

複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を変更することができます。

1. DVDを再生中に字幕ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。

2. さらに字幕ボタンを押す

押すたびに字幕表示が切り換わります。

- 字幕を消すには字幕ボタンを押したあとクリアボタンを押すか、字幕ボタンを押して[オフ]を選んでください。
- DVDでは字幕の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合にはメニューボタンを押して、メニュー画面を表示させてから選択します。（23ページ）
- ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。DVDビデオでは、リジューム機能（25ページ）を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の［字幕言語］（58ページ）で選択した字幕言語に戻ります。

再生中に音声を切り換える DVD

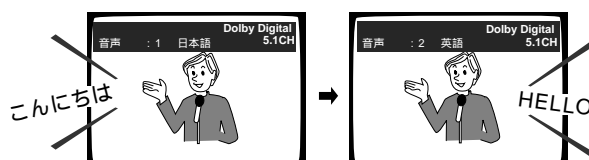
複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは、再生する音声を変更することができます。

1. DVDを再生中に音声ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。

2. さらに音声ボタンを押す

押すたびに音声が切り換わります。

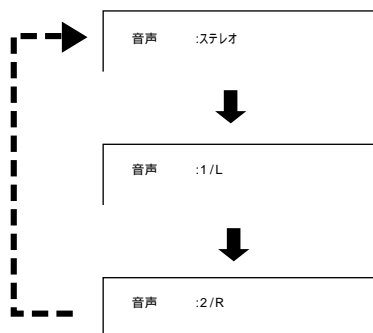
memo

- 複数の音声が記録されたDVDオーディオでも、再生中に音声を切り換えることができます。
- DVDの音声の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合にはメニューボタンを押して、メニュー画面を表示させてから選択します。(23ページ)
- ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。DVDビデオでは、リジューム機能(25ページ)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の[音声言語](58ページ)で選択した音声言語に戻ります。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になるときがあります。
- 初期設定画面の[デジタル出力]で[オン]を選び、[リニアPCM出力]で[ダウンサンプルオン]を選んでいるときは、「ダウンサンプルデジタル出力」と表示される場合があります。
- DVDビデオのスライドショー(69ページ)の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間(最大約30秒)音声が途切れます。

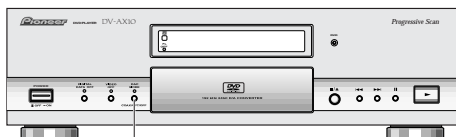
ステレオ／左／右の音声を切り換える

CD VIDEO CD

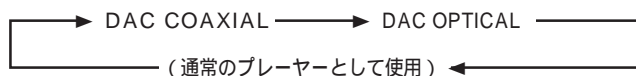
ビデオCDやCDでは音声の種類を切り換えることができます。

ビデオ CD、ＣＤを再生中に音声ボタンを押す

押すたびに音声がステレオ、1/L（左）、2/R（右）に切り換わります。

カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

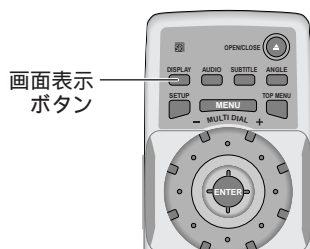
本機を DAC として使う

1. **本機のデジタル入力端子（11 ページ⑦）と各デジタル機器をつなぎ、また本機のアナログ出力の接続をしておく（17 ページ）**

2. **本体 DAC MODE ボタンを押す**

入力信号を選びます。
ボタンを押すたびに設定が切り換わります。

DAC COAXIAL：デジタル音声入力（同軸）端子へ送られてくる信号をアナログ変換します。
DAC OPTICAL：デジタル音声入力（光）端子へ送られてくる信号をアナログ変換します。

- 本機D/Aコンバーターはリニア PCM信号（32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz)のみ対応しています。ドルビーデジタル、DTSの音声には対応していません。なお、DTS信号を本機に入力するとノイズを発生しますので、ご注意ください。
- DACモード中は本体DAC MODEインジケーターが点灯します。
- DACモード中は本機をプレーヤーとして使用できません。映像信号も出力されないため、DACモード中は本体VIDEO OFFインジケーターが点灯します。
- 本体の停止／オープン・クローズボタン、再生ボタン、リモコンのオープン・クローズボタン、停止ボタン、再生ボタン、初期設定ボタンを押すとDACモードは解除され、各ボタンそれぞれの動作を始めます。
- ディスクテーブルが開いているときは、本機をDACとして使用できません。

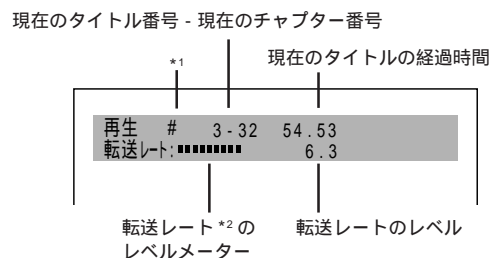
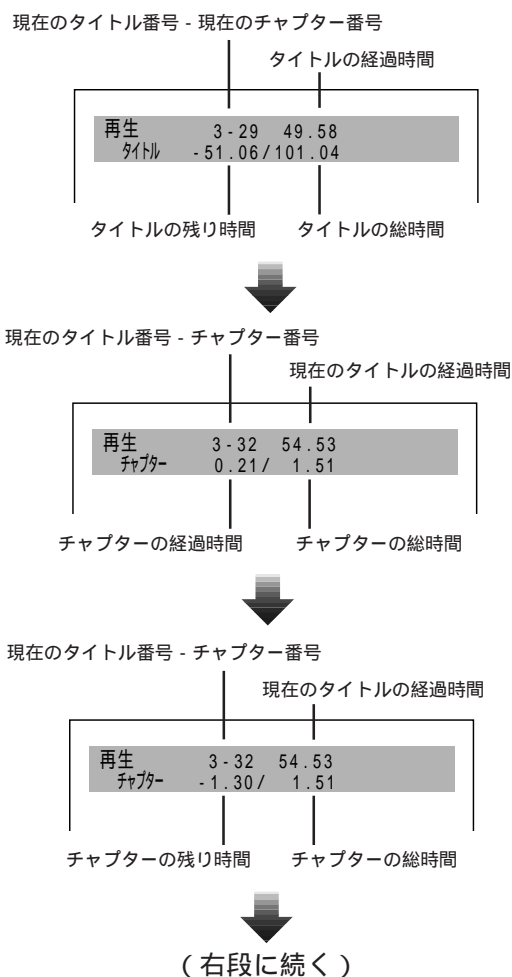
ディスクの情報を見る　DVD SACD CD VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター情報、またはビデオCDやCDのトラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。

■ 再生中にディスクの情報を見る

再生中に画面表示ボタンを繰り返し押す

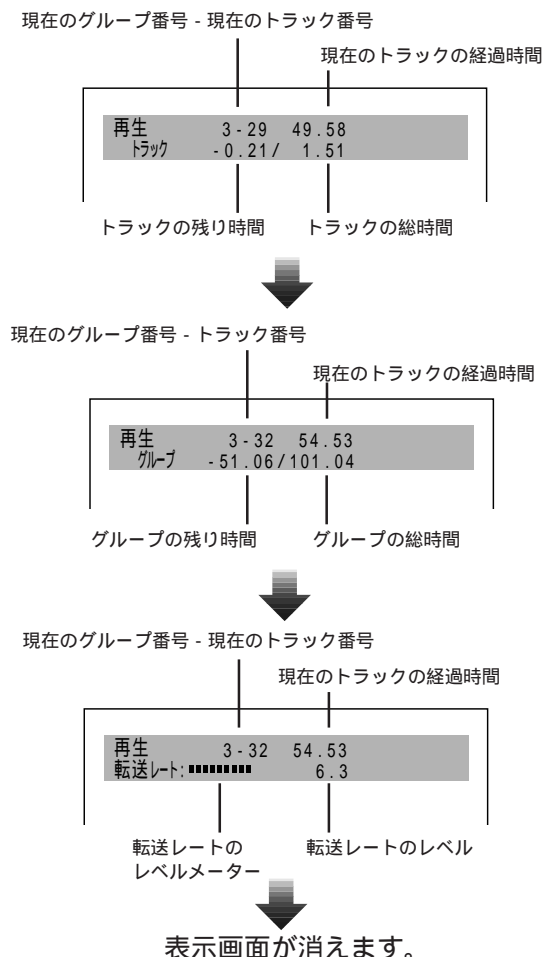
押すたびに以下の情報が表示されます。

DVD VIDEO のとき

（右段に続く）

*1 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に表示されます。
*2 DVDビデオに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

表示画面が消えます。

タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

DVD AUDIO のとき

表示画面が消えます。

VIDEO CD のとき

表示画面が消えます。

memo

ビデオCDのPBC再生中にはディスクの情報を見ることはできません。

SACD CDのとき

表示画面が消えます。

■停止中にディスクの情報を見る

停止中に画面表示ボタンを押す

ディスク情報の画面が表示されます。
SACDでは、停止中にディスクの情報は表示されません。

DVD VIDEOのとき

タイトルとそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

1/2とは、情報が2ページあり、この画面がその1ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、ジョイスティックを右に動かすと、次の画面が表示されます。

DVD AUDIO のとき

グループとそれぞれのグループ内のトラック数が表示されます。

ボーナスグループは、キーナンバーを入力する前は灰色で表示されます。入力方法については62ページをご覧ください。

CD、VIDEO CD のとき

トラックとそれぞれのトラック時間が表示されます。

1/2とは、情報が2ページあり、この画面がその1ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、ジョイスティックを右に動かすと、次の画面が表示されます。

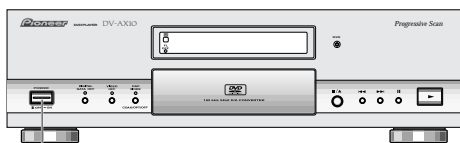
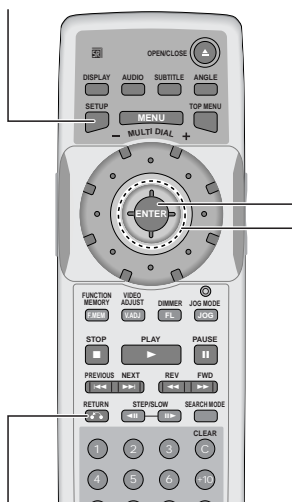
ディスク情報を消すには

画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

はじめに　接続と準備　基本操作　応用操作　初期設定　その他

いろいろな設定

初期設定画面の操作のしかた

初期設定画面を使って、さまざまな設定を行うことができます。

2,8
初期設定ボタン
初期設定画面を
表示/終了します。

7
ENTERボタン
設定した項目を
実行します。

リターン(↶)ボタン
１つ前の項目に戻ります。

3,4,5,6
ジョイスティック
ジョイスティックを上下左右に動かします。

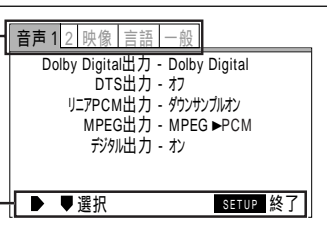
初期設定を操作すると、リジューム機能（25ページ）が解除されることがあります。

1. **本体の電源ボタンを押す**

電源がすでに入っている場合は手順2 に進んでください。

2. **初期設定ボタンを押す**

初期設定画面が表示されます。

例）

3. **ジョイスティックを動かしてタグ（[音声 1]、[音声 2]、[映像]、[言語]、[一般]）を選ぶ**

4. **設定したい項目を選ぶ**

5. **選択肢の欄にカーソルを移動させる**

6. **設定したい選択肢にカーソルを合わせる**

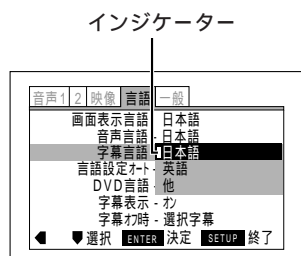
7. **ENTER ボタンを押す**

他の項目も設定変更するときは、手順３～７を繰り返します。

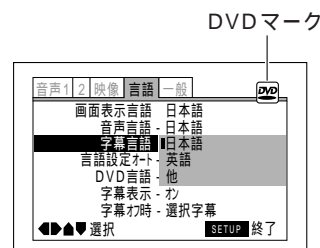
8. **初期設定ボタンを押す**

初期設定画面が消えます。

ディスクの種類により変更後すぐに働く設定項目

DVD、ビデオCD、CDといったディスクの種類によって、変更後すぐに働く設定項目があります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認できます。下記の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
黄色	DVD／ビデオCD
橙色	CD／SACD／DVDオーディオ
緑色	ディスクの種類にかかわりません

DVD にのみ働く設定項目

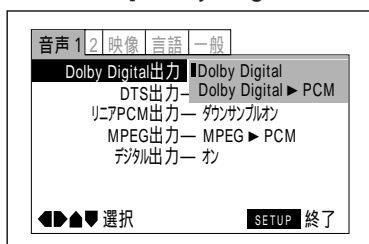
SACD、CDまたはビデオCDが入っているとき、初期設定画面でDVDしか働かない項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

再生中に変更できない項目

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

デジタル音声出力の設定をする

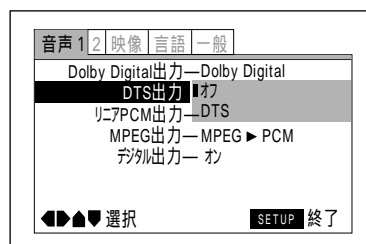
本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号に合わせて設定することができます。適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。お手持ちのアンプの取扱説明書も合わせてお読みください。

■ ドルビーデジタル出力

つないだアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を [Dolby Digital►PCM] にします。

Dolby Digital
：Dolby Digital信号をデジタル出力します。ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

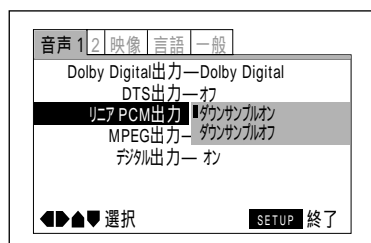
Dolby Digital ► PCM
：Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します（マルチチャンネル音声は2チャンネルにダウンミックスされます）。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

■ DTS出力

つないだアンプがDTS対応の場合は、設定を[DTS]にします。

オフ：DTS信号を出力しません。DTSに対応していないアンプと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

DTS：DTS信号をデジタル出力します。DTS対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

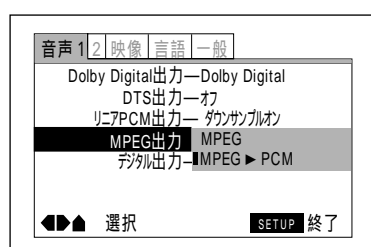
■ リニアPCM出力

つないだアンプが96kHz対応の場合などに、設定を[ダウンサンプルオフ] にします。この設定は再生中に変更できません。

ダウンサンプルオン
：各系統の音声周波数を48kHz／44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないアンプなどと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

ダウンサンプルオフ
：96kHz対応アンプまたはDACと接続したときなどに選びます。

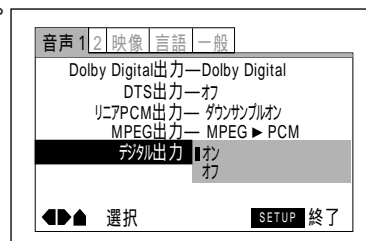
[ダウンサンプルオフ]に設定していても、ディスクによっては、48kHz／44.1kHzに強制的にダウンサンプルされたり、デジタル出力されないことがあります。

■ MPEG出力

つないだアンプがMPEG対応の場合は、設定を[MPEG]にします。

MPEG
：MPEG信号をデジタル出力します。MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

MPEG ► PCM
：MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します（マルチチャンネル音声は2チャンネルにダウンミックスされます）。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

■ デジタル出力の設定をする

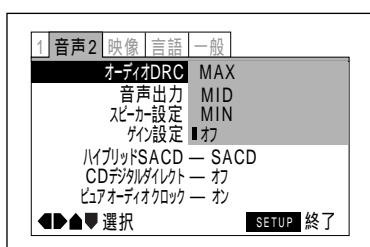
デジタル出力端子から信号を出力しないように設定できます。

オン： 後面のデジタル出力端子から信号を出力します。（出荷時の設定）

オフ： 後面のデジタル出力端子から信号が出力されません。

DVDオーディオの中には、ディスクによってはデジタル出力されないものがあります。

音声出力の設定をする

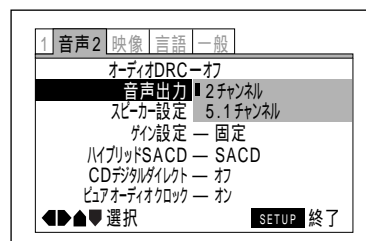
■ ドルビーデジタル音声を調節する

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。オーディオDRC（ダイナミックレンジコンプレッション）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

MAX ： 最も効果があります。
MID ： MAXとMIN中間の効果があります。
MIN ： 少し効果があります。
オフ ： オーディオDRCを解除します。（出荷時の設定）

memo

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- オーディオDRCの効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、最も効果的な設定をお選びください。

■ 音声出力の設定

AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子と接続したとき、または別売アンプC-AX10とPDIFでマルチチャンネル接続したときに、設定を[5.1チャンネル]にします。

2チャンネル ：
音声出力（2CH）端子に接続したとき選択します。（出荷時の設定）
5.1チャンネル ：
マルチチャンネル音声出力（5.1CH）端子に接続したとき選択します。

- DVDビデオのスライドショー（69ページ）の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間（最大約30秒）音声が途切れます。

出力される音声について

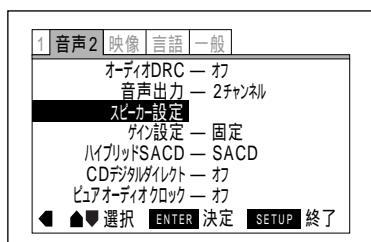
音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)			
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
	リニアPCM (DVDビデオ)	5.1CH	2CH左/右	–	–	–
		2CH	2CH左/右	–	–	–
	リニアPCM (DVDオーディオ)	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス *1 左/右	–	–	–
	MPEG	5.1CH	左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	左/右	–	–	–
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–
CD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	–	–	–

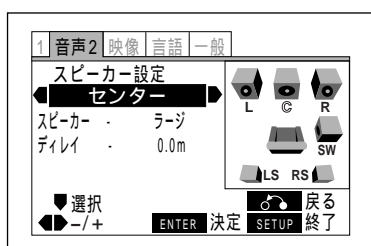
＊1 DVDオーディオではダウンミックスを禁止しているものがあります。その場合は[2チャンネル]にしていても、ダウンミックスされません。
＊2 超低域成分
（網掛け） 音声は出力されません。

- デジタルディスクに一部のチャンネルが記録されていない場合は、そのチャンネルから音声は出力されません。

スピーカーの設定をする

■ スピーカーの設定

マルチチャンネル音声出力（5.1CH）端子にAVアンプを接続している場合に設定します。また適切なサラウンド効果を得るために、接続しているスピーカーまでの距離を設定します。

1. **ENTER ボタンを押して、[スピーカー設定]を選ぶ**

設定画面になります。

2. **スピーカーの種類を選ぶ**

→センター(C)←→サブウーファー(SW)←
→左サラウンド(LS)←→右サラウンド(RS)←

サラウンドスピーカーは左右どちらかを選んで設定します。

カーソルを下へ移動します

3. **スピーカーのサイズ、または接続しているか、していないかを選ぶ**

ラージ　：大きいスピーカーに接続しているときに選択します。（目安としてコーンサイズ直径12 cm以上）（出荷時の設定）

スモール：小さいスピーカーに接続しているときに選択します。（目安としてコーンサイズ直径12 cm未満）

オフ　　：接続していないときに選択します。

オン　　：サブウーファー（SW）を接続しているときに選択します。

[ラージ]、[スモール]または[オン]を選んだときはカーソルを下へ移動します

4. **スピーカーの距離を設定する**

リスニングポジションからL/Rスピーカーまでの距離と、リスニングポジションから設定する各スピーカーまでの距離の差を設定します。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力される音にディレイタイム（遅延時間）が設定されます。

設定できる範囲は以下のとおりです。

L/R　　：調整できません
C/SW　：－ 2.0 ～ 2.0m（0.1m単位）
LS/RS：－ 6.0 ～ 2.0m（0.1m単位）

例）リスニングポジションからL/Rスピーカーまでの距離が 3m のとき

・設定するスピーカーの距離が 1.8m なら
　→[－ 1.2m]と設定する
・設定するスピーカーの距離が 3.3m なら
　→[0.3m]と設定する

memo

ディレイタイムの設定について

マルチチャンネル再生では、すべてのスピーカーはリスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイムを設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。

5. **接続しているスピーカーすべてについて手順 2 ～ 4 を繰り返す**

6. **設定を決定する**

memo

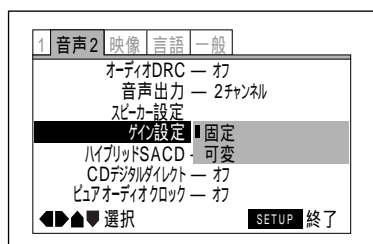
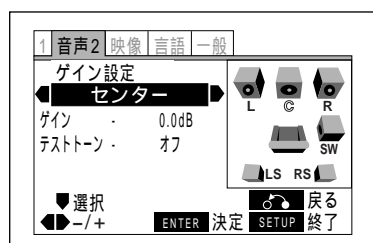
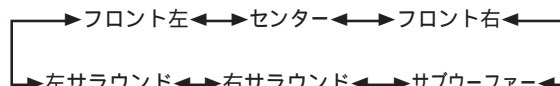
- 設定するスピーカーは、画面上で文字が青く表示されている箇所です。
- [オン]に設定すると、画面上でスピーカーの絵が黄色くなります。
- センター、サラウンドどちらも[オフ]に設定すると、サブウーファーは自動的に[オフ]になります。
- サブウーファーを[オン]にすると、LFE（超低音の効果音）はサブウーファーから出力します。
- DVDオーディオの場合は、スピーカーの設定に関係なく、常に[ラージ]で再生されます。
- DVDオーディオの場合は、[C][LS][RS]のいずれかを[オフ]に設定すると、強制的に2CHにダウンミックスされた音声が出力されます（ただしダウンミックスを禁止しているDVDオーディオを除く）。

■スピーカーの出力レベルを調整する（ゲイン設定）

マルチチャンネル音声出力（5.1CH）端子にAVアンプを接続している場合に設定します。各スピーカーの出力を設定して、それらを確認できます。出荷時は[固定]です。出力レベルを調整するときは[可変]を選びます。

[可変]を選んだとき

1. スピーカーの種類を選ぶ

フロント左 ↔ センター ↔ フロント右 ↔ サブウーファー ↔ 右サラウンド ↔ 左サラウンド ↔ フロント左

スピーカー設定が[オフ]になっているスピーカーは選べません。

カーソルを下へ移動します

2. 出力レベルを設定する

－6.0dB～6.0dBまで0.5dB単位で調整します。フロント左右の出力レベルは、固定されているため調整できません。

3. 調整する各スピーカーについて手順1～2を繰り返す

カーソルを下へ移動します

4. 設定した出力レベルを確認する（テストトーン）

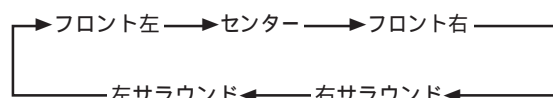
オフ　：テストトーンが出ません。（出荷時の設定）
オン　：手動でテストトーンが出ます。
オート：自動でテストトーンが出ます。

[オン]を選んだとき

選択しているスピーカーからテストトーンが出力されます。他のスピーカーから出力させる場合は、スピーカーの種類を変更してください。

[オート]を選んだとき

以下の順番にテストトーンが出力されます。

フロント左 → センター → フロント右 → 右サラウンド → 左サラウンド → フロント左

5. テストトーンを聞きながら出力レベルを微調整する

テストトーンを止める

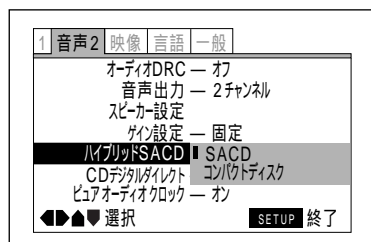
[テストトーン]の選択肢から[オフ]を選びます。

memo

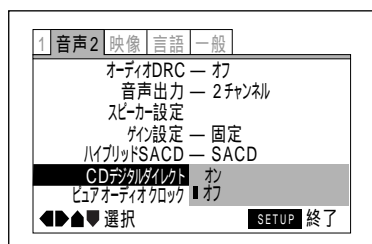
- [可変]を選んだとき、すべてのスピーカーの出力レベルは一律－6.0dBに設定されます。その数値から、センター、サラウンド、サブウーファーの各出力レベルを－6.0dB～6.0dBの範囲で調整します。したがって、[可変]で設定できる最大出力レベル[6.0dB]とは、[固定]と同じ出力レベルになります。そのため、[可変]を選んだときはほとんどの場合、[固定]の出力レベルより小さくなります。
- CDを再生中、[CDデジタルダイレクト]（次ページ）が[オン]に設定されているときは、[可変]で設定した出力レベルは適用されません。
- [音声出力]の設定（51ページ）が[2チャンネル]のとき、ディスクを再生しているとき、ディスクテーブルが開いているときは、テストトーンは出力されません。

「音声」の設定をする

■ ハイブリッドSACDの再生層を切り換える

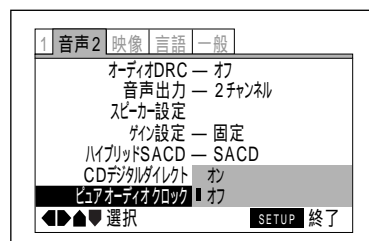
ハイブリッドSACDは、SACD層とCD層の2層構造になっています。ハイブリッドSACDのCDで記録された音声を聞くときは、設定を切り換えます。

SACD
：SACD層を再生します。（出荷時の設定）
コンパクトディスク
：CD層を再生します。

■ よりよい音質でCDを聞く（CDデジタルダイレクト）

CD再生のときこの設定を[オン]にすることで、CD再生に不要な回路をバイパスできるため、高音質の再生が楽しめます。

オン：CD再生に不要な回路をバイパスします。
オフ：DTS CDの再生に必要な回路を経由します。（出荷時の設定）

DTS CDを再生するとき、この設定を[オン]にするとノイズが発生しますので、ご注意ください。

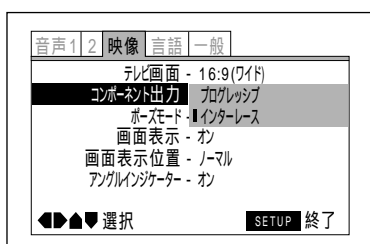
■ 音質重視の高音質設定に変える（ピュアオーディオクロック）

DVDオーディオには異なる2つの周波数系統があるため、本機ではそれら2つの周波数系統に対応した2つのマスタークロックを出力しています。再生するディスクのサンプリング周波数に応じて水晶発振器が44.1kHz系（44.1kHz/88.2kHz/176.4kHz）と48kHz系（48kHz/96kHz/192kHz）の自動切り換えを行い、さらに選択されていない発振器をOFF状態にすることが可能です。これにより理想的なクロックを供給し、高音質化を図っています。

オン：不必要なマスタークロックを止めて再生するときに選択します。
オフ：2つのマスタークロックを止めずに再生するときに選択します。（出荷時の設定）

[オン]に設定したとき、再生するディスク内で周波数系統（44.1kHzと48kHz）が切り換わるときに、一瞬映像が乱れます。

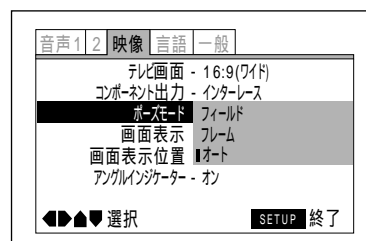
「映像」の設定をする

■映像の出力方式を切り換える

コンポーネント接続したテレビがプログレッシブ対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。
この設定は、本体後面のコンポーネント映像出力切換スイッチで[menu select]が選ばれているときのみ設定できます（15ページ）。
この設定は再生中に変更できません。

プログレッシブ
：きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。
インターレース
：プログレッシブ対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。（出荷時の設定）

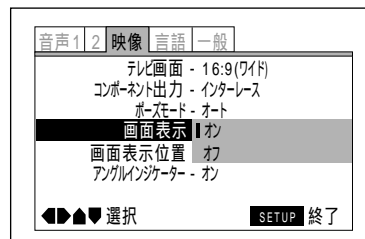
プログレッシブ対応でないテレビと接続したにもかかわらず、この設定で「プログレッシブ」を選ぶと、映像が出力されなくなります。間違えて設定してしまったときは、後面のコンポーネント映像出力切換スイッチを[525i(480i)]に切り換えてください。

■静止画像を切り換える（ポーズモード）

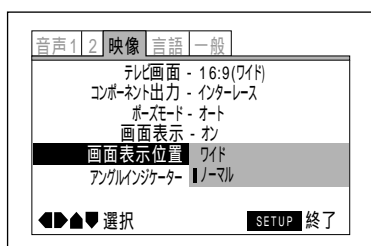
DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。

フィールド：静止画状態のとき、画像のブレをなくします。
フレーム　：通常モードです。
オート　　：フィールドとフレームを自動的に切り換えます。（出荷時の設定）

ディスクによっては「フィールド」を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

■画面表示のオン／オフを切り換える

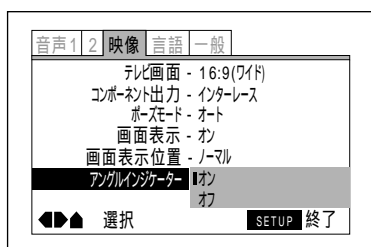
「プレイ」「ストップ」など、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させるかどうかを設定します。

オン：画面表示をします。（出荷時の設定）
オフ：画面表示をしません。

■ 画面表示の位置を選択する

ワイドテレビに接続しているとき、テレビ側の設定によっては本機の画面表示の一部が欠ける場合があります。画面表示位置を変更して、表示が欠けるのを避けることができます。
従来サイズのテレビに接続しているときは、この設定は必要ありません。

ワイド　：　ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

ノーマル：　ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します。（出荷時の設定）

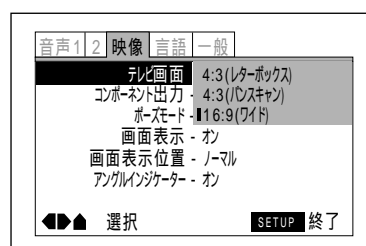
■ アングルマーク()の表示をオン／オフする

マルチアングル対応のDVDでは再生中に、アングル切り換えができる場面で、画面にマークが表示されます。その表示をさせたくないとき設定を変更します。

オン：　画面にマークを表示します。（出荷時の設定）

オフ：　画面にマークを表示しません。

マルチアングルの操作については41ページをご覧ください。

■ テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。
DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16：縦9で記録されています。したがって、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。

4:3（レターボックス）
：　従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式（右ページ）で見たいときに選択します。

4:3（パンスキャン）
：　従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式（右ページ）で見たいときに選択します。

16:9（ワイド）
：　ワイド（16:9）テレビと接続したとき選択します。（出荷時の設定）

- 96kHz PCM音声の入った16:9ディスクをレターボックスに変換して再生する場合は、音声のサンプリング周波数が強制的に48kHzにダウンサンプリングされます。96kHzで音声を楽しむには、画面サイズをワイドに設定してください。
- アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の見えかた

[従来サイズのテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9 のディスク	4:3(レターボックス)	○ 上下に帯がつきますが正しく見えます
	4:3(パンスキャン)	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます このように見たくない場合は、本機の設定を[4:3(レターボックス)]に切り換えてください。
	16:9(ワイド)	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を[4:3(レターボックス)]または[4:3(パンスキャン)]に切り換えてください。
4:3 のディスク	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド) いずれの設定でも	○ 正しく見えます

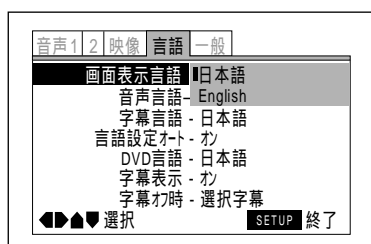
[ワイドテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9 のディスク	16:9(ワイド)	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3 のディスク	16:9(ワイド)	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます
		× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

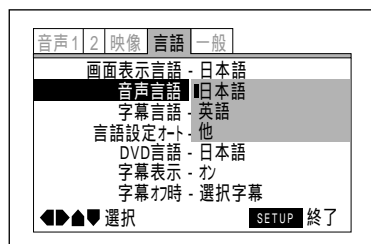
「言語」の設定をする

DVDビデオの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の［言語］にあるさまざまな「言語」と「字幕」に関する設定を行います。

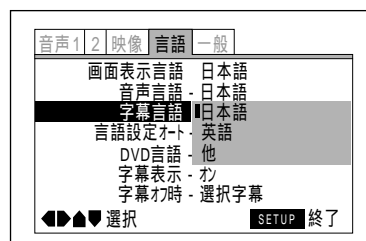
■ 画面表示言語を設定する

初期設定画面などを表示する言語を切り換えます。

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。
English：画面表示の言語が英語になります。
　　　　（出荷時の設定）

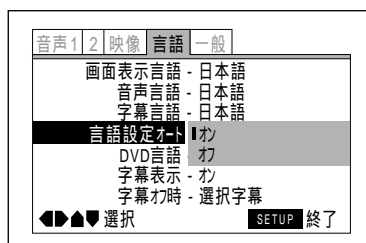
■音声言語を設定する

音声言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

日本語　：音声言語が日本語になります。
　　　　（出荷時の設定）
英語　　：音声言語が英語になります。
他　　　：136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは右ページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき」をご覧ください。

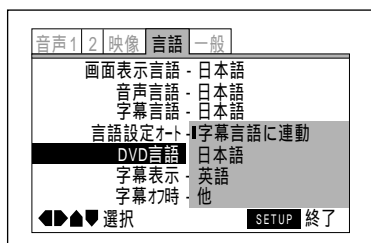
■ 字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語：　日本語の字幕を表示します。
　　　　（出荷時の設定）
英語　：　英語の字幕を表示します。
他　　：　136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは右ページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき」をご覧ください。

■ 音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声／字幕にするかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン：［音声言語］と［字幕言語］が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります。一般の洋画DVDビデオでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDビデオでは音声は日本語、字幕はオフになります。（出荷時の設定）
オフ：再生中の音声のオート設定が解除され、［音声言語］と［字幕言語］で設定している音声と字幕になります。

■ DVDソフトのメニュー言語を設定する

DVDソフトの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。この設定は再生中に設定できません。

字幕言語に連動
：［字幕言語］で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。（出荷時の設定）

日本語 ：日本語でメニュー画面が表示されます。

英語 ：英語でメニュー画面が表示されます。

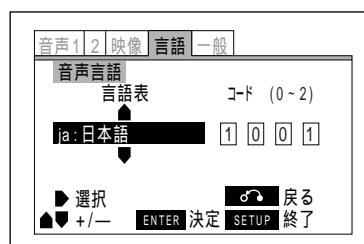
他 ：136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは右の段落の「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき」をご覧ください。

DVDに収録されていない言語を設定した場合、 収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

字幕言語／音声言語／ DVD 言語の設定で［他］を選んだとき

次ページの「言語コード表」を見ながら操作します。

1. ［他］を選び ENTER ボタンを押す

言語選択画面が表示されます。
例）音声言語の場合

2. 「言語表」または「コード」を選ぶ

「コード」で言語を選ぶ方法

（「フランス語」を選ぶ場合）
リモコンの数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。

- 1桁ごとにジョイスティックを上下に動かして数字を選択することもできます。ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。
- コードの（ ）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

「言語表」で言語を選ぶ方法

（「フランス語」を選ぶ場合）
ジョイスティックを上に 2 回動かします。

3. ENTER ボタンを押す

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Dutch (nl)	1412
Russian (ru)	1821
Chinese (zh)	2608
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801

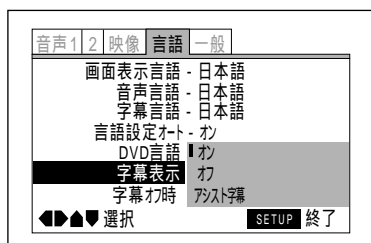
言語名（言語コード）	入力コード
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Portuguese (pt)	1620
Quechua (qu)	1721
Rhaeto-Romance (rm)	1813

言語名（言語コード）	入力コード
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swedish (sv)	1922
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

＊言語表記はISO639:1988（E/F）に準拠（1999年9月現在）

■ 字幕表示をオン／オフする

字幕を表示するかしないか、または「アシスト字幕」を表示するかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

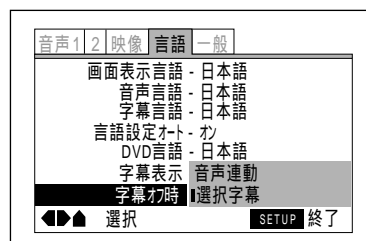
音声1 2 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定オート－オン
DVD言語 オン
字幕表示 オフ
字幕オフ時 アシスト字幕
選択 SETUP 終了

オン　：字幕を表示します。（出荷時の設定）

オフ　：字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（下の項目）。

アシスト字幕

：「アシスト字幕」は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

■ 強制的に表示される字幕の言語を設定する

DVDビデオの中には、字幕表示を[オフ]に設定しても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

音声連動

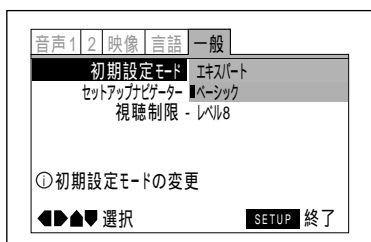
：再生されている音声の言語で字幕を表示します。

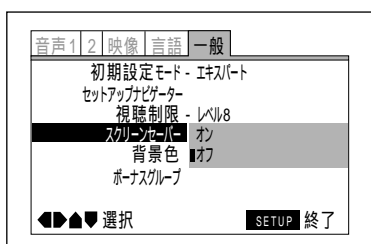
選択字幕

：再生されている字幕の言語で字幕を表示します。（出荷時の設定）

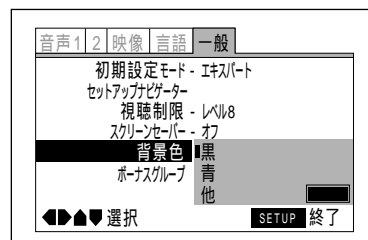
一般の設定をする

■ 初期設定の種類を変更する

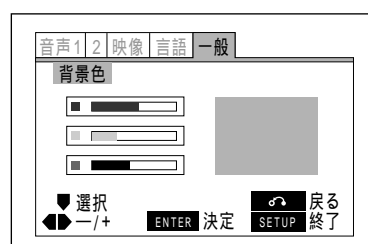
[初期設定モード]を[ベーシック]に設定すると、基本的な設定項目だけ表示できるようになり、画面にその設定の簡単な説明が表示されます。その情報を画面で確認しながら設定変更することができます。

■ スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。

オン：スクリーンセーバー機能が働きます。
オフ：スクリーンセーバー機能が働きません。
（出荷時の設定）

■ 背景色を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の色を選びます。

黒： 黒色の背景色を表示します。（出荷時の設定）
青： 青色の背景色を表示します。
他： お好みの背景色を設定できます。

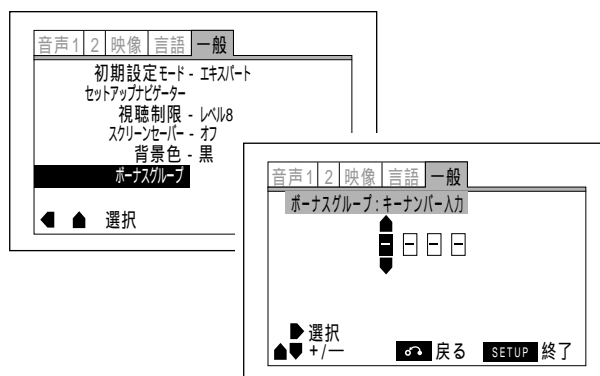
「他」を選んだとき

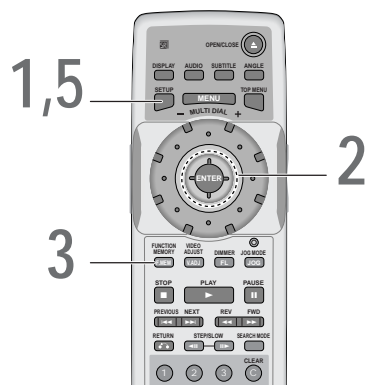
下の画面で色合いを調整し、ENTERボタンを押します。

ボーナスグループの設定をする

DVD AUDIO

■ DVDオーディオのボーナスグループを再生する

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。
この設定は再生中に選択できません。

ディスクが取り出されるか、または電源が切られると、入力されたキーナンバーの記憶は消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

よく変更する初期設定の項目を記憶する (ファンクションメモリー)

初期設定の項目をすぐに呼び出すのに便利です。5項目まで記憶させることができます。

■ 記憶のしかた

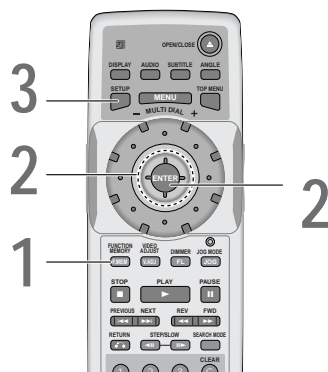
1. **初期設定ボタンを押す**

2. **記憶したい項目を選ぶ**

3. **ファンクションメモリーボタンを押す**

記憶されると、項目の左側に "FM" が表示されます。

4. **手順 2 ～ 3 を繰り返す**

5. **初期設定ボタンを押す**

■呼び出しかた

1. **初期設定画面が出てない状態でファンクションメモリーボタンを押す**

項目のリストを表示します。

2. **項目を選び、ENTER ボタンを押す**

初期設定画面が表示されます。この画面で設定や変更ができます。

3. **初期設定ボタンを押す**

記憶した内容を消すには

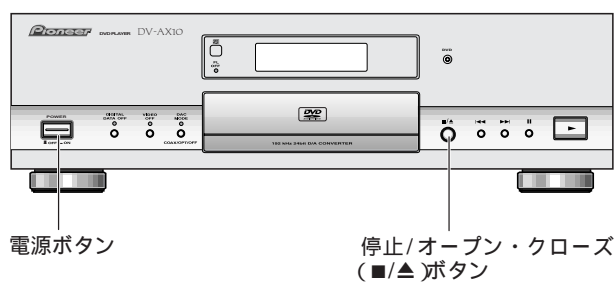
1. 初期設定ボタンを押します。
2. 消したい項目を選びます。
3. ファンクションメモリーボタンを押します。
   項目の左側の"FM"表示が消えます。
4. 初期設定ボタンを押します。

・ 5項目を超えて記憶させようとすると、画面にメッセージまたはが表示されます。その場合は、記憶した内容を消してから記憶してください。
・ ディスク再生中に設定できない項目（灰色表示の項目）を記憶することはできません。このとき画面にメッセージまたはが表示されます。詳しくは、70ページの「初期設定画面の項目別さくいん」をご覧ください。

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

ご注意：
この操作を行うと、画質調整（27ページ）、ラストメモリー（40ページ）、コンディションメモリー（41ページ）やプログラムメモリー（39ページ）など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

電源ボタン

停止/オープン・クローズ（■/▲）ボタン

電源オフのとき、停止／オープン・クローズ（■/▲）ボタンを押しながら、本体の電源ボタンを押す

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

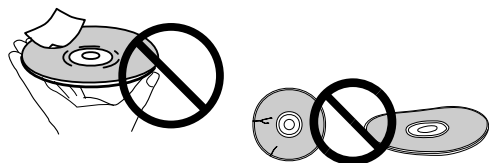
その他

使用上の注意

■ディスクの取り扱いかた

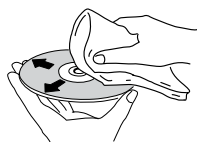
取り扱いかた

両手で持つ場合

- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

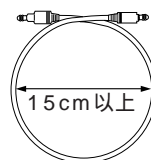
特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

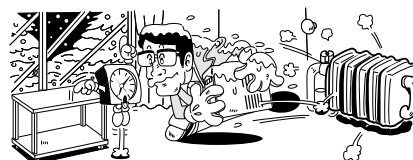
■レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は「保証とアフターサービス」（67ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

■光ファイバーケーブル(別売り)取り扱い上のご注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。

- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

■結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。

電源が入らない
➡電源コードをコンセントに正しく接続してください（14ページ）。

ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう
➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（22ページ）。
➡ディスクをクリーニングしてください(65ページ）。
➡リージョン No.が一致しているか確認してください(6、69ページ）。

画面が映らない
➡本体後面のコンポーネント映像出力切換スイッチの設定を、受像機に合わせて「525i(480i)」または「525p(480p)」に切り換えてください(15ページ）。
➡映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください(15ページ）。
➡テレビまたはAVアンプなど、接続した機器の入力モードを確認してください。

再生できない
➡ディスクをクリーニングしてください(65ページ）。
➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（22ページ）。
➡本機の内部の結露を除去してください(65ページ）。
➡PAL方式やSECAM方式のディスクは再生できません。
➡ディスクを表裏正しく入れてください。

設定した内容を記憶していない／設定内容が消える
➡再生中に、初期設定の変更をしたりラストメモリーやコンディションメモリーなどを記憶させたとき、その再生中の状態からそのまま電源が切られると、そのとき設定された内容は記憶されません。記憶させるには、停止(■)ボタンを押して再生を止めてから電源を切ってください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない
➡停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。

マークが画面に出る
➡ディスクがその操作を禁止しています(6ページ）。

マークが画面に出る
➡プレーヤーがその操作を禁止しています(6ページ）。

セットアップ中にDVDマークが画面に出る
➡CDやビデオCDが入っているとき、DVDでしか働かない項目を設定しようとしている(49ページ）。

リモコンで操作できない
➡本体後面のコントロール入力端子が接続されてるときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください(11ページ）。
➡リモコンの使用範囲で操作してください(8ページ）。
➡リモコンの電池を新しいものと交換してください(8ページ）。

テレビなどが誤動作する
➡ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

スピーカーから音が出ない、音が歪む
➡音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください(16、17ページ）。
➡[音声出力]の設定により、音が出ない場合があります(51ページ）。
➡デジタル接続している場合は、[デジタル出力]の設定を[オン]にしてください(50ページ)。DVDオーディオの中には、ディスクによってはデジタル出力されないものがあります。
➡ディスクをクリーニングしてください(65ページ）。
➡一時停止またはスロー再生になっていたら再生にしてください(32ページ）。
➡テレビまたはAVアンプなどの音量が「最小」になっている場合はボリュームを上げてください。
➡接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。
➡接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
➡平衡出力の接続をしている場合、平衡出力ON/OFF切換スイッチを[OFF]に設定していると音は出ません（17ページ）。

デジタルアウト出力から96 kHzで出力できない
➡ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります。このようなディスクでは、初期設定画面の［音声1］の［リニアPCM出力］の設定を「ダウンサンプルオフ」にしていても、自動的に48kHzに変換して出力します(50ページ）。
➡96kHz PCM音声の入った16:9ディスクをレターボックスに変換して再生する場合は、音声のサンプリング周波数が強制的に48kHzにダウンサンプリングされます。96kHzで音声を楽しむには、画面サイズをワイドに設定してください(56ページ）。

画面が縦または横に伸びている
➡［テレビ画面］の設定を合わせてください（56ページ）。

DVDやCD、SACDで音量差を感じる
➡これはディスクの記録方式の違いによるものです。
➡SACDはCDの約半分の音量になります。

DVD再生中に画像が乱れる、または暗い
➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません(15ページ）。

DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる
➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません(15ページ）。

初期設定画面を出したとき、レターボックスに設定していた画面が突然、縦長になる
➡レターボックスまたはパンスキャンで再生中に初期設定画面を出すと、画面サイズが強制的にワイドに変換されますが、故障ではありません。

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを抜いて、しばらくたってからもう一度差し込むことで正常な動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

保証とアフターサービス

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

・保証期間はご購入日から１年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから後の処理をしてください。

■保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容について

- 品名　DVDプレーヤー
- 型番　DV-AX10
- お買い上げ日
- 故障の状況 「できるだけ具体的に」
「ディスクのタイトル」
- ご住所「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- 電話番号
- 訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

仕　様

形式
DVDビデオ、DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、ビデオCD、コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

電源 ……… AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 ……… 48 W
本体質量 ……… 24 kg
外形寸法 ……… 440（幅）×394（奥行）×150（高さ）mm
許容動作温度 ……… ＋5℃～＋35℃
許容動作湿度 ……… 5%～85%（結露のないこと）

S2映像出力（2系統）
Y出力レベル ……… 1 Vp-p（75 Ω）
C出力レベル ……… 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 ……… S端子

映像出力（2系統）
出力レベル ……… 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ……… RCA端子

コンポーネント映像出力（Y/CB/CR）
Y出力レベル ……… 1 Vp-p（75 Ω）
CB/CR出力レベル ……… 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ……… RCA端子

音声出力（2CH）
音声出力レベル ……… 200 mVrms（1kHz、−20dB）
出力端子 ……… RCA端子

平衡音声出力（2CH）
音声出力レベル ……… 400 mVrms（1kHz、−20dB）
出力端子 ……… キヤノンジャック

マルチチャンネル音声出力（リアL/R、センター、サブウーファー）
音声出力レベル ……… 200 mVrms（1kHz、−20dB）
出力端子 ……… RCA端子

デジタル出力
光デジタル出力 ……… 光デジタル端子
同軸デジタル出力 ……… RCA端子
同軸デジタル出力（PCM） ……… RCA端子

その他の端子
コントロール入力／出力 ……… ミニジャック（3.5 φ）

付属品
リモートコントロールユニット ……… 1
単3形（R6P）乾電池 ……… 2
音声ケーブル ……… 1
映像ケーブル ……… 1
BNC-ピン変換プラグ ……… 3
電源コード ……… 1
取扱説明書、保証書、安全上のご注意、ご相談窓口・修理窓口のご案内 ……… 各1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビはアスペクト比が4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面（フレーム）を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに“ｉ”を付けて（525i等）表記してあります。

コンポーネント映像出力
Y/C_B/C_Rの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
歪みなく信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY DIGITAL

本機はドルビーデジタルデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにドルビーデジタルを楽しむことができます。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに“ｐ”を付けて（525p等）表記してあります。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、4桁の番号（キーナンバー）を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM
PCMはPulse Code Modulationの略で、リニアPCMとは圧縮しないPCM信号をいいます。DVDの音声記録方式の1つであり、CDの音声も同じ方式ですが、DVDはサンプリング周波数が48kHzや96kHz、さらにDVDオーディオでは最大192kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

DTS
Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

本機はDTSデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにDTSディスクを楽しむことができます。

DVD オーディオ／ビデオの静止画
DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。またブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

PDIF
Pioneer Digital Interfaceの略でDVDオーディオの高音質を楽しむための音声信号の伝送方式です。本機と別売のデジタルコントロールアンプC-AX10とを専用のケーブルで接続することにより、2チャンネルはもちろん、マルチチャンネルや192kHz、176.4kHzサンプリングの信号もデジタルのまま伝送することが可能になります。

SACD
CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

S2 映像出力
S2とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）と画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号が入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch
フロント左/右、センター、リア左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタルやDTSといったサラウンドシステムで採用されています。

初期設定画面の項目別さくいん

初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

▮ 出荷時の設定を表わします。

（網掛け） エキスパート時のみ表示される設定項目です。

*1 PDIF動作中は設定できません。

*2 ファンクションメモリーできない設定を表わします（63ページ）。

さくいん

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問合わせ窓口　0070-800-8181-22

● カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DV-AX10

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<99K00ZF0G01>

<VRA1153-A>